

令和2年国勢調査
従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果

横浜市 の 概 要

目 次

利用上の注意・用語の解説	P. 2
I 昼夜間人口比率	P. 5
II 従業地・通学地別人口	P. 10
III 横浜市に常住する15歳以上就業者・通学者 (夜間人口の就業・通学先の状況)	P. 12
IV 横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者 (昼間人口の常住地の状況)	P. 18
V 流出・流入人口(15歳以上通勤・通学者)	P. 24
VI 通勤・通学者の利用交通手段	P. 39
令和2年国勢調査の概要	P. 42

令和4年10月

横浜市政策局総務部統計情報課

利用上の注意

- この「横浜市の概要」は、令和4年7月22日に総務省統計局から公表された令和2年国勢調査の「従業地・通学地による人口・就業状態等集計（※）結果」のうち、横浜市分をまとめたものです。
※「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」… 全ての調査票を用いて、従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などを集計したもの
- 結果数値は、表章単位未満を四捨五入しているために、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しません。
- 割合は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出し、又は不詳補完値により算出しています。不詳補完値については総務省統計局の令和2年国勢調査のページを参照してください。
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>

なお、補完前の集計結果（原数値）は、次のとおりです。

労働力状態別人口－横浜市

労働力状態	人口（人）	
	平成27年	令和2年
総数	3,724,844	3,777,491
就業者	1,673,920	1,688,279
通学者	448,213	414,150
従業も通学もしていない	1,216,320	1,110,660
労働力状態「不詳」	386,391	564,402

従業地・通学地別人口－横浜市

従業地・通学地	人口（人）	
	平成27年	令和2年
総数	3,724,844	3,777,491
従業も通学もしていない	1,216,320	1,110,660
市内で従業・通学	1,269,557	1,297,917
自宅で従業	104,081	140,195
自宅外の自区	641,786	635,065
他区	523,690	522,657
市外で従業・通学	727,015	693,064
県内	226,404	220,346
他県	500,611	472,718
不詳	511,952	675,850

- 4 表中の符号の用法は次のとおりです。
- 「0.0」 …… 単位未満
 - 「-」 …… 皆無又は該当数値なし
 - 「△」 …… 負数

詳細な結果は、横浜市統計情報ポータル又は総務省統計局ホームページをご覧ください。

◆横浜市統計情報ポータル「令和2年国勢調査」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/kekka/kokusei/r2/>

◆総務省統計局「令和2年国勢調査 調査の結果」

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>

－ 用語の解説 －

○従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が仕事をしている場所又は通学者が通学している学校の場所をいい、本書においては次のとおり区分している。なお、運転手などのように雇われて戸外で仕事をしている人については、所属している事業所のある市区町村を従業地としている。

区分	内容
市内で従業・通学	従業地・通学地が横浜市の者
自宅で従業	従業地が自宅の者
自宅外の自区	従業地・通学地が「自宅」以外の自区の者
他区	従業地・通学地が横浜市内の他区の者
市外で従業・通学	従業地・通学地が横浜市以外の者
県内	従業地・通学地が横浜市を除く神奈川県内の他市町村の者
他県	従業地・通学地が神奈川県外の都道府県の者
不詳	
従業・通学市区町村「不詳・外国」	従業地・通学地が現在住んでいる行政区以外であるが、市区町村名が不明の者又は外国の者
従業地・通学地「不詳」	従業地・通学地が不明の者

○夜間人口（常住地による人口）

調査時（令和2年10月1日）に調査の地域に常住している者をいう。

○昼間人口（従業地・通学地による人口）

当該集計の結果を用いて、次の式により算出された者をいう。

なお、夜間勤務及び夜間通学の者も昼間人口に含まれているが、買い物客や観光客などは含まれていない。

[例：昼間人口の算出方法]

$$\begin{aligned} \text{横浜市の昼間人口} &= \text{横浜市の夜間人口} - \text{横浜市からの流出人口}^{\text{注1)}} + \text{横浜市への流入人口}^{\text{注2)}} \\ \text{A区の昼間人口} &= \text{A区の夜間人口} - \text{A区からの流出人口}^{\text{注3)}} + \text{A区への流入人口}^{\text{注4)}} \end{aligned}$$

注1) 横浜市から横浜市以外への通勤・通学者数

注2) 横浜市以外から横浜市への通勤・通学者数

注3) A区からA区以外への通勤・通学者数

注4) A区以外からA区への通勤・通学者数

○昼夜間人口比率

次の式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示している。

[例：A市の昼夜間人口比率の算出方法]

$$\text{A市の昼夜間人口比率} = (\text{A市の昼間人口} / \text{A市の夜間人口}) \times 100$$

○流出人口

当該地域から他の地域へ通勤・通学している人口（行政区では市内他区への通勤・通学を含む）

○流入人口

他の地域から当該地域へ通勤・通学している人口（行政区では市内他区からの通勤・通学を含む）

※その他の用語

その他の用語は、『令和2年国勢調査 調査結果の利用案内 －ユーザーズガイドー』を参照してください。 <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/sankou.html>

I 昼夜間人口比率

1 昼夜間人口比率は91.1、前回と比べ0.6ポイント上昇

横浜市における昼間人口は3,440,070人、夜間人口は3,777,491人となっており、昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口）は91.1となっています。

平成27年（以下「前回」という）と比べ、昼間人口は70,122人増加、夜間人口は52,647人増加し、昼夜間人口比率は0.6ポイント上昇しています。

【表1-1、図1-1】

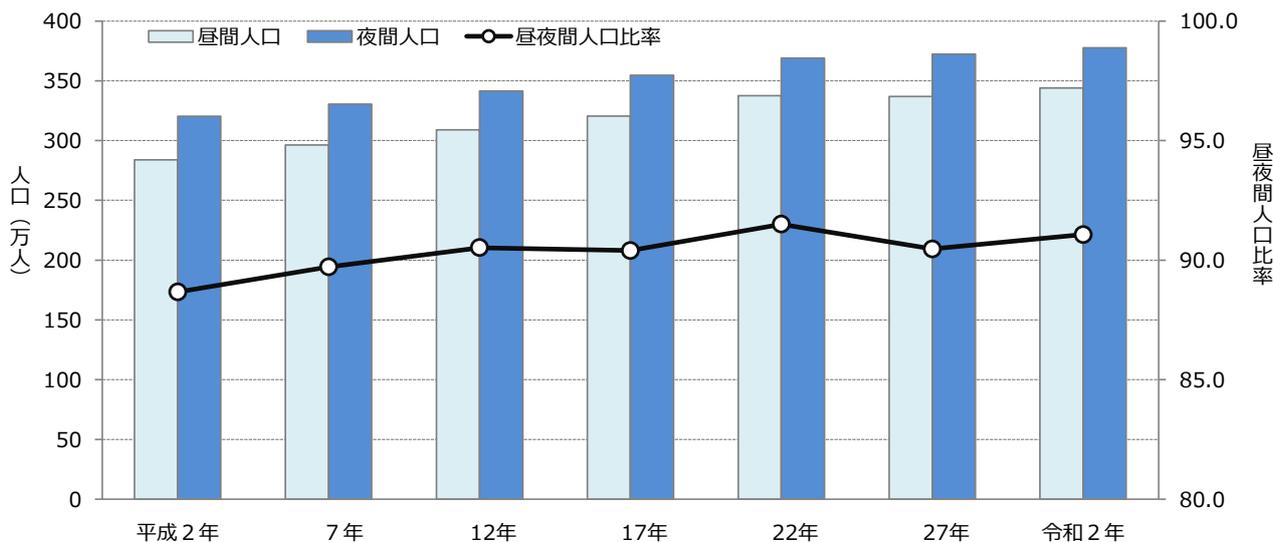
表1-1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移（平成2年～令和2年）

年次	昼間人口 (人) A	夜間人口 (常住人口) (人) B	流出人口 (人) C	流入人口 (人) D	流入超過 人口(人) D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100
平成2年 ¹⁾	2,840,252	3,203,195	745,332	382,389	△362,943	88.7
7年 ¹⁾	2,963,872	3,303,708	760,326	420,490	△339,836	89.7
12年 ¹⁾	3,091,166	3,414,860	730,625	406,931	△323,694	90.5
17年 ¹⁾	3,205,144	3,545,447	739,648	399,345	△340,303	90.4
22年	3,375,330	3,688,773	723,741	410,298	△313,443	91.5
27年	3,369,948	3,724,844	857,816	502,920	△354,896	90.5
令和2年	3,440,070	3,777,491	846,624	509,203	△337,421	91.1

注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

1) 平成2年～平成17年は、年齢不詳の者を集計から除く。このため、夜間人口（常住人口）と国勢調査確定人口とは一致しない。

図1-1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移（平成2年～令和2年）



注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

2 行政区別昼夜間人口比率は西区が210.4、中区が168.7で100を超える

昼間人口を行政区別にみると、港北区が322,449人と最も多く、次いで中区が255,403人、鶴見区が253,976人となっています。

昼夜間人口比率を行政区別にみると、西区(210.4)及び中区(168.7)で100を上回っていますが、それ以外の16区は100を下回っています。前回と比べ、西区(10.9ポイント上昇)をはじめ10区で上昇している一方、保土ヶ谷区(2.1ポイント低下)をはじめ8区で低下しています。

【表1-2、図1-2、図1-3】

表1-2 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率—市、行政区(令和2年)

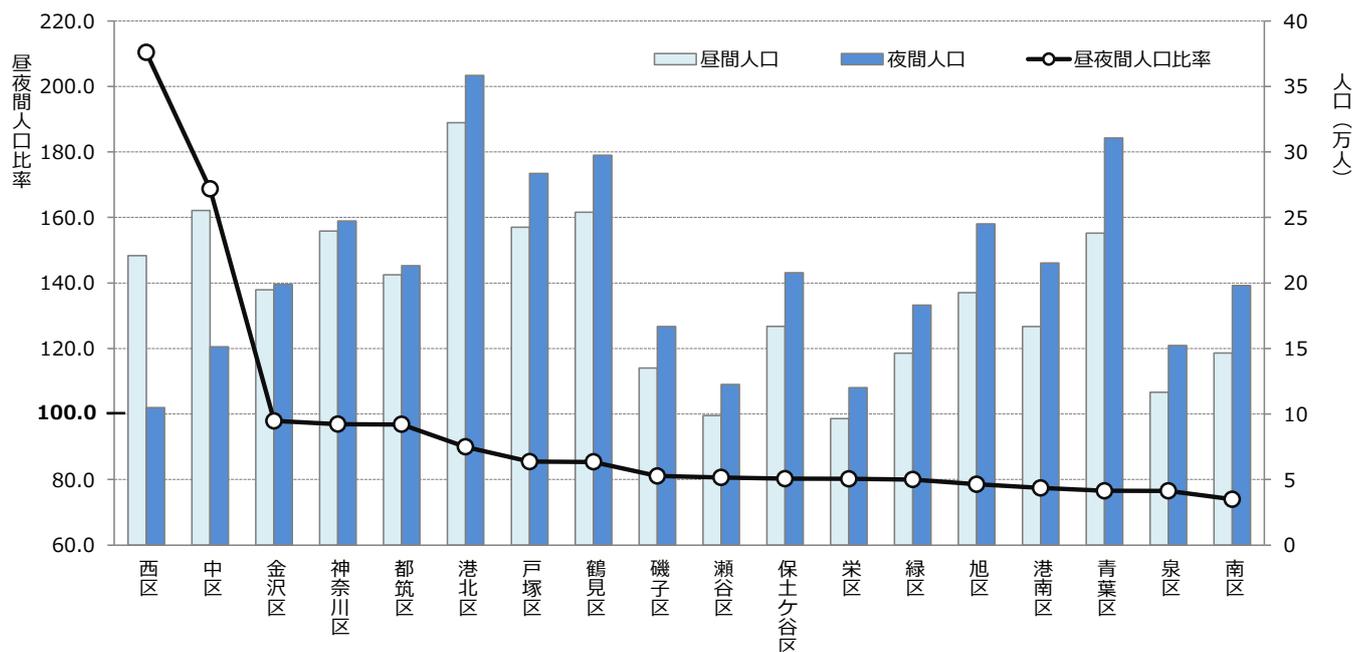
行政区	昼間人口 (人) A	夜間人口 (常住人口) (人) B	流出人口(人)			流入人口(人)		
			総数 C	就業者	通学者	総数 D	就業者	通学者
横浜市	3,440,070	3,777,491	846,624	755,967	90,657	509,203	442,762	66,441
鶴見区	253,976	297,437	119,582	109,075	10,507	76,121	67,696	8,425
神奈川区	239,659	247,267	108,605	98,178	10,427	100,997	81,878	19,119
西区	220,817	104,935	46,250	41,568	4,682	162,132	155,607	6,525
中区	255,403	151,388	50,977	44,878	6,099	154,992	143,917	11,075
南区	146,538	198,157	82,815	75,248	7,567	31,196	24,515	6,681
港南区	166,664	215,248	83,780	73,890	9,890	35,196	31,412	3,784
保土ヶ谷区	166,859	207,811	84,560	75,696	8,864	43,608	35,179	8,429
旭区	192,558	245,174	88,453	78,652	9,801	35,837	30,888	4,949
磯子区	135,200	166,731	67,464	60,312	7,152	35,933	33,292	2,641
金沢区	194,772	198,939	64,420	56,627	7,793	60,253	48,937	11,316
港北区	322,449	358,530	152,414	136,275	16,139	116,333	98,306	18,027
緑区	146,495	183,082	74,470	66,100	8,370	37,883	29,285	8,598
青葉区	237,947	310,756	126,735	107,763	18,972	53,926	42,831	11,095
都筑区	206,330	213,132	81,017	67,921	13,096	74,215	68,094	6,121
戸塚区	242,516	283,709	104,518	91,062	13,456	63,325	54,437	8,888
栄区	96,396	120,194	46,164	40,188	5,976	22,366	18,014	4,352
泉区	116,637	152,378	57,727	50,641	7,086	21,986	18,574	3,412
瀬谷区	98,854	122,623	45,620	40,386	5,234	21,851	18,393	3,458

※カッコ内は順位

行政区	流入超過 人口 (人) D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100	(参考)	
			平成27年 昼夜間 人口比率	平成27年 ～令和2年 ポイント差
横浜市	△337,421	91.1	90.5	0.6
鶴見区	△43,461	85.4 (8)	86.8 (7)	△1.5
神奈川区	△7,608	96.9 (4)	98.7 (3)	△1.8
西区	115,882	210.4 (1)	199.6 (1)	10.9
中区	104,015	168.7 (2)	167.2 (2)	1.5
南区	△51,619	74.0 (18)	74.3 (17)	△0.3
港南区	△48,584	77.4 (15)	77.4 (14)	0.1
保土ヶ谷区	△40,952	80.3 (11)	82.4 (9)	△2.1
旭区	△52,616	78.5 (14)	77.1 (15)	1.4
磯子区	△31,531	81.1 (9)	81.3 (10)	△0.2
金沢区	△4,167	97.9 (3)	95.5 (5)	2.4
港北区	△36,081	89.9 (6)	91.0 (6)	△1.0
緑区	△36,587	80.0 (13)	79.8 (12)	0.2
青葉区	△72,809	76.6 (16)	74.1 (18)	2.5
都筑区	△6,802	96.8 (5)	96.1 (4)	0.8
戸塚区	△41,193	85.5 (7)	86.3 (8)	△0.8
栄区	△23,798	80.2 (12)	78.9 (13)	1.3
泉区	△35,741	76.5 (17)	76.1 (16)	0.4
瀬谷区	△23,769	80.6 (10)	80.8 (11)	△0.2

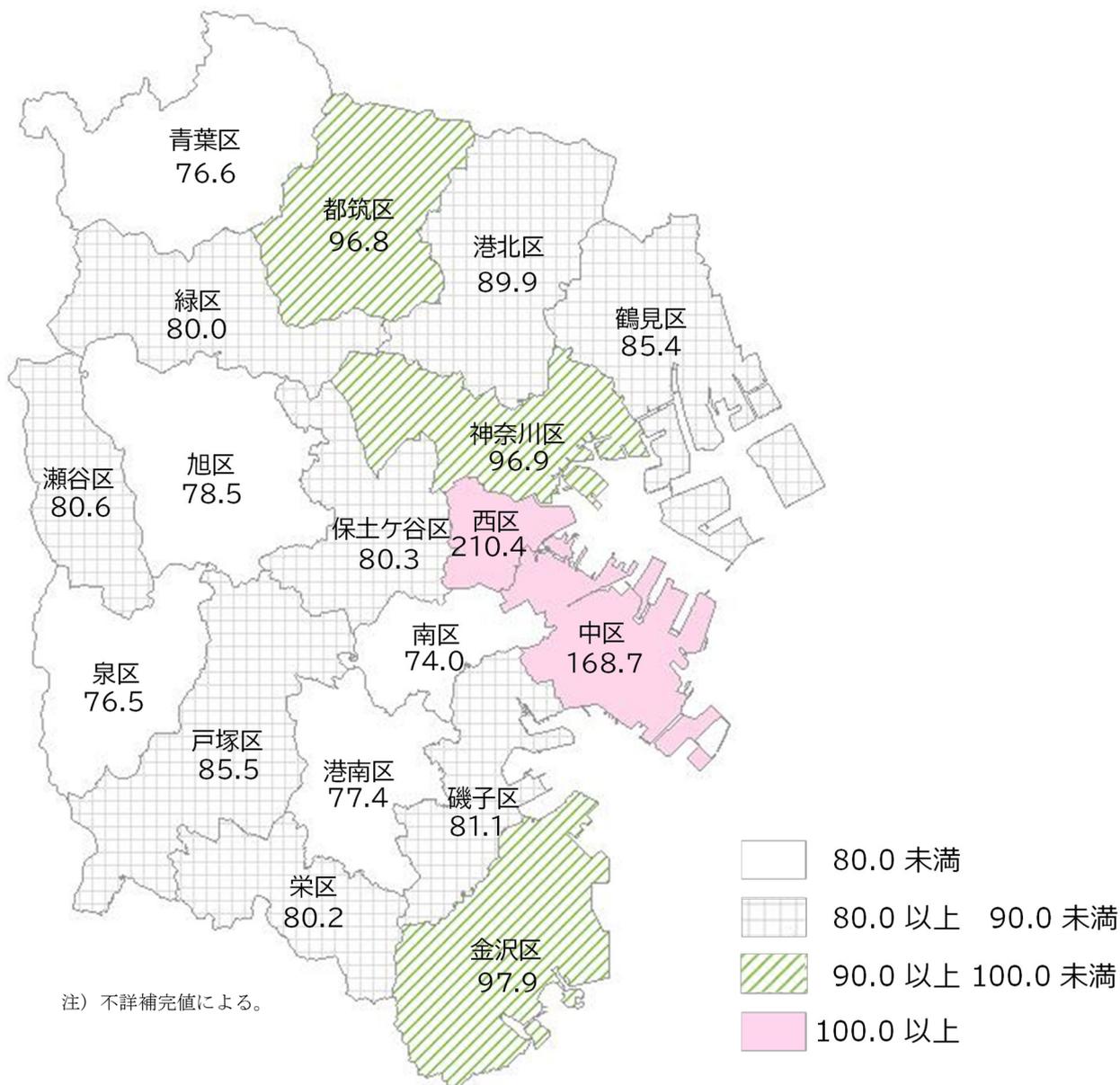
注) 不詳補完値による。

図1-2 昼夜間人口比率、昼間人口及び夜間人口—行政区（令和2年）



注) 不詳補完値による。

図1-3 昼夜間人口比率—行政区（令和2年）



注) 不詳補完値による。

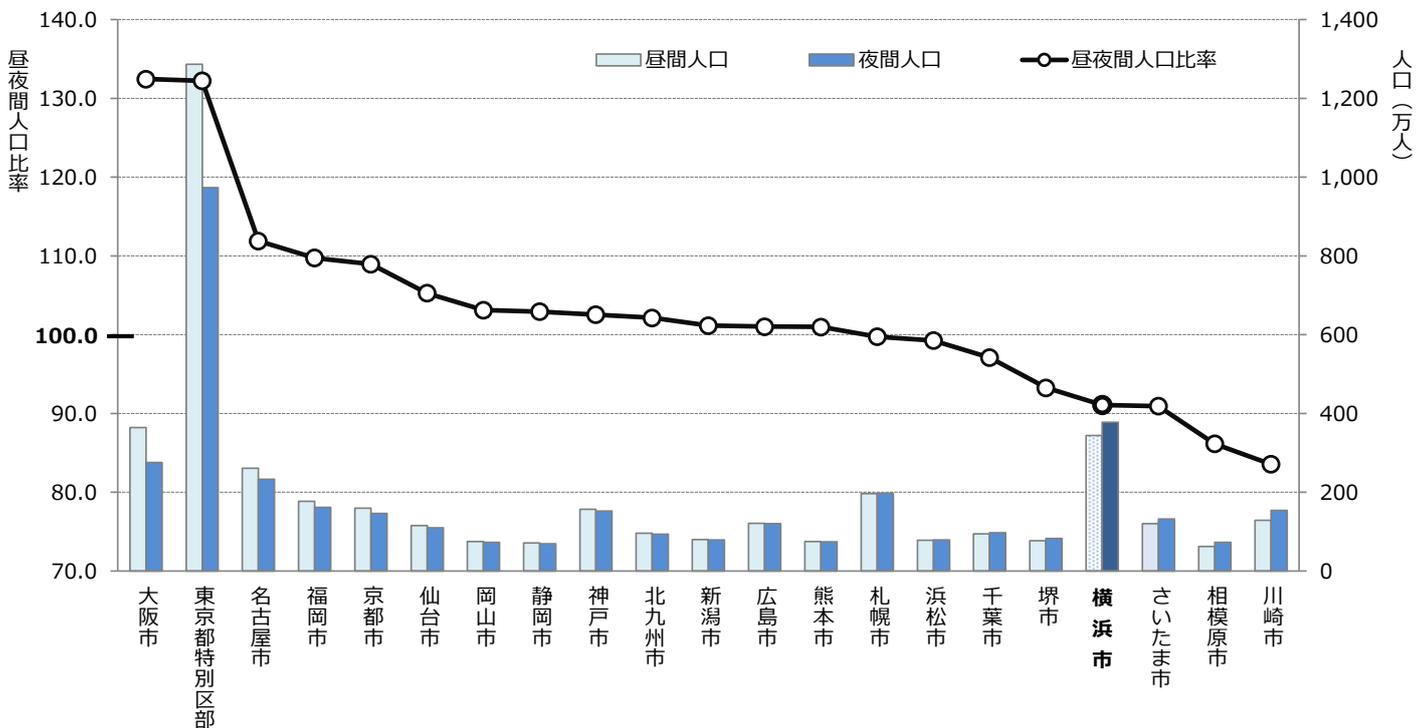
3 21 大都市では横浜市の昼夜間人口比率が最も上昇

21 大都市（政令指定都市と東京都特別区部）における昼夜間人口比率をみると、大阪市が 132.5 と最も高く、次いで東京都特別区部が 132.2、名古屋市が 111.9 となっており、横浜市は 91.1 で 18 番目となっています。

前回と比べ、横浜市（0.6 ポイント上昇）が最も上昇しており、次いで相模原市（0.2 ポイント上昇）、堺市（0.1 ポイント上昇）と計 3 市で上昇している一方で、それ以外の 18 都市では低下しています。

【表 1-3、図 1-4】

図 1-4 昼夜間人口比率、昼間人口及び夜間人口—21 大都市（令和 2 年）



注) 不詳補完値による。

表 1-3 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率—21 大都市（令和 2 年）

都市名	昼間人口 (人) A	夜間人口 (常住人口) (人) B	流出人口(人)			流入人口(人)		
			総数 C	就業者	通学者	総数 D	就業者	通学者
札幌市	1,968,338	1,973,395	86,547	73,671	12,876	81,490	67,802	13,688
仙台市	1,154,586	1,096,704	74,486	66,964	7,522	132,368	108,490	23,878
さいたま市	1,204,080	1,324,025	376,781	335,972	40,809	256,836	220,493	36,343
千葉市	946,610	974,951	227,383	203,718	23,665	199,042	170,429	28,613
東京都特別区部	12,870,173	9,733,276	590,192	492,305	97,887	3,727,089	3,407,772	319,317
横浜市	3,440,070	3,777,491	846,624	755,967	90,657	509,203	442,762	66,441
川崎市	1,285,285	1,538,262	545,186	489,457	55,729	292,209	267,935	24,274
相模原市	625,027	725,493	197,776	177,159	20,617	97,310	79,946	17,364
新潟市	798,479	789,275	41,940	39,031	2,909	51,144	40,587	10,557
静岡市	713,745	693,389	35,215	31,605	3,610	55,571	44,662	10,909
浜松市	784,884	790,718	52,003	47,829	4,174	46,169	39,415	6,754
名古屋市	2,609,745	2,332,176	256,810	233,705	23,105	534,379	450,558	83,821
京都市	1,594,930	1,463,723	140,463	124,478	15,985	271,670	204,522	67,148
大阪市	3,645,921	2,752,412	336,776	282,590	54,186	1,230,285	1,140,036	90,249
堺市	770,547	826,161	195,355	170,325	25,030	139,741	124,242	15,499
神戸市	1,564,007	1,525,152	201,661	180,200	21,461	240,516	201,090	39,426
岡山市	747,281	724,691	60,764	55,114	5,650	83,354	67,840	15,514
広島市	1,213,104	1,200,754	78,905	71,321	7,584	91,255	77,049	14,206
北九州市	959,146	939,029	56,899	50,874	6,025	77,016	65,967	11,049
福岡市	1,769,643	1,612,392	106,718	95,411	11,307	263,969	221,756	42,213
熊本市	746,115	738,865	66,630	62,496	4,134	73,880	59,668	14,212

※カッコ内は順位

都市名	流入超過 人口 (人) D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100	(参考)	
			平成27年 昼夜間 人口比率	平成27年 ～令和2年 ポイント差
札幌市	△5,057	99.7 (14)	100.0 (14)	△0.2
仙台市	57,882	105.3 (6)	106.0 (6)	△0.8
さいたま市	△119,945	90.9 (19)	91.4 (18)	△0.5
千葉市	△28,341	97.1 (16)	97.1 (16)	△0.0
東京都特別区部	3,136,897	132.2 (2)	134.0 (1)	△1.7
横浜市	△337,421	91.1 (18)	90.5 (19)	0.6
川崎市	△252,977	83.6 (21)	84.9 (21)	△1.4
相模原市	△100,466	86.2 (20)	85.9 (20)	0.2
新潟市	9,204	101.2 (11)	101.4 (12)	△0.3
静岡市	20,356	102.9 (8)	103.1 (8)	△0.1
浜松市	△5,834	99.3 (15)	99.3 (15)	△0.1
名古屋市	277,569	111.9 (3)	113.0 (3)	△1.1
京都市	131,207	109.0 (5)	109.1 (5)	△0.2
大阪市	893,509	132.5 (1)	133.9 (2)	△1.5
堺市	△55,614	93.3 (17)	93.2 (17)	0.1
神戸市	38,855	102.5 (9)	102.6 (9)	△0.0
岡山市	22,590	103.1 (7)	103.8 (7)	△0.7
広島市	12,350	101.0 (12)	101.4 (13)	△0.3
北九州市	20,117	102.1 (10)	102.4 (10)	△0.3
福岡市	157,251	109.8 (4)	110.8 (4)	△1.1
熊本市	7,250	101.0 (13)	101.7 (11)	△0.7

注) 不詳補完値による。

II 従業地・通学地別人口

1 就業者の61.7%が「市内で従業」

横浜市の夜間人口（3,777,491人）における従業地・通学地別人口の割合をみると、「従業も通学もしていない」（1,347,250人）が35.7%、「市内で従業・通学」（1,583,617人）が41.9%、横浜市を除く「県内」（268,967人）が7.1%、「他県」（577,657人）が15.3%となっています。

前回と比べ「従業も通学もしていない」は1.1ポイント低下、「市内で従業・通学」は1.7ポイント上昇、「市外で従業・通学」は0.6ポイント低下しています。

また、就業者（1,974,799人）の従業地別人口の割合をみると、「市内で従業」は61.7%、うち「自宅で従業」は8.5%、「自宅外の自区」は24.9%、「他区」は28.3%となっており、「市外で従業」は38.3%、うち「県内」は11.8%、「他県」は26.4%となっています。

前回と比べ「市内で従業」は1.8ポイント上昇、うち「自宅で従業」は2.1ポイント上昇しています。一方、「市外で従業」は1.8ポイント低下、うち「他県」は1.5ポイント低下しています。

【表2-1、図2-1】

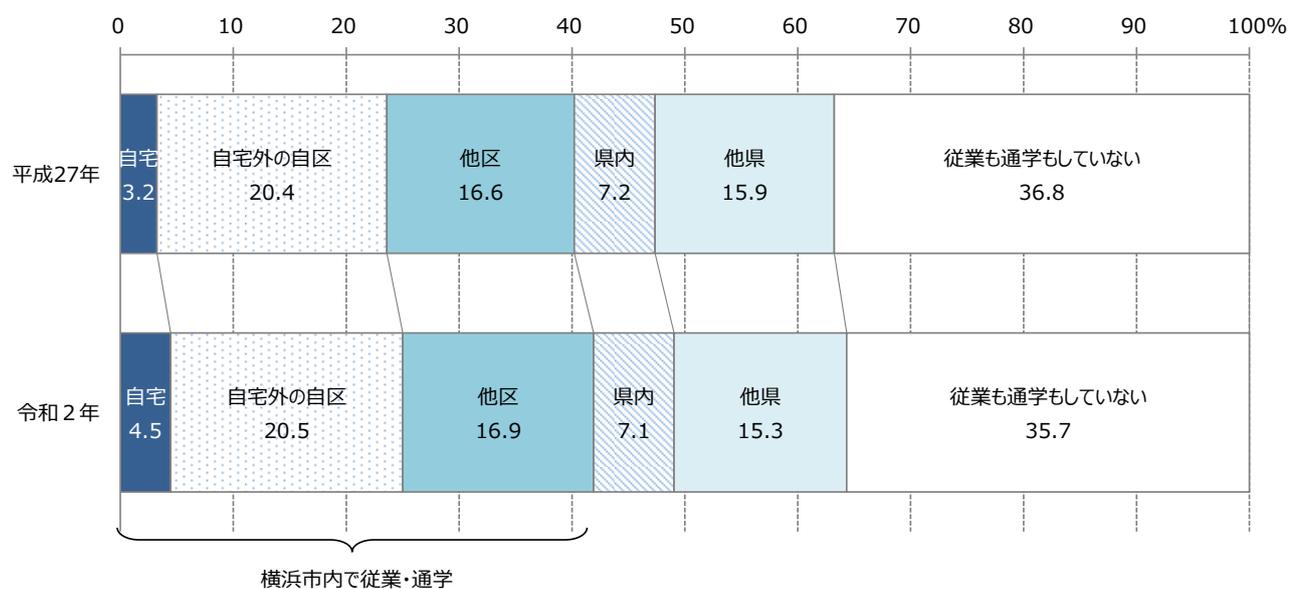
表2-1 従業地・通学地別人口（平成27年、令和2年）

従業地・通学地		平成27年		令和2年		対前回は	
		総数	うち就業者	総数	うち就業者	総数	うち就業者
実数 (人)	総数	3,724,844	1,874,586	3,777,491	1,974,799	52,647	100,213
	従業も通学もしていない ¹⁾	1,370,033	-	1,347,250	-	△22,783	-
	市内で従業・通学	1,496,995	1,122,673	1,583,617	1,218,832	86,622	96,159
	自宅で従業	120,457	120,457	168,769	168,769	48,312	48,312
	自宅外の自区	758,374	470,253	775,901	491,570	17,527	21,317
	他区	618,164	531,963	638,947	558,493	20,783	26,530
	市外で従業・通学	857,816	751,913	846,624	755,967	△11,192	4,054
	県内	267,153	228,600	268,967	233,853	1,814	5,253
	他県	590,663	523,313	577,657	522,114	△13,006	△1,199
	割合 (%) ・ ポイント 差	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	-
従業も通学もしていない ¹⁾		36.8	-	35.7	-	△1.1	-
市内で従業・通学		40.2	59.9	41.9	61.7	1.7	1.8
自宅で従業		3.2	6.4	4.5	8.5	1.2	2.1
自宅外の自区		20.4	25.1	20.5	24.9	0.2	△0.2
他区		16.6	28.4	16.9	28.3	0.3	△0.1
市外で従業・通学		23.0	40.1	22.4	38.3	△0.6	△1.8
県内		7.2	12.2	7.1	11.8	△0.1	△0.4
他県	15.9	27.9	15.3	26.4	△0.6	△1.5	

注) 不詳補完値による。

1) 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」

図 2 - 1 従業地・通学地別人口（平成 27 年、令和 2 年）



注) 不詳補完値による。

Ⅲ 横浜市に常住する 15 歳以上就業者・通学者 （夜間人口の就業・通学先の状況）

1 15 歳以上就業者の「自宅で従業」の割合が上昇

横浜市に常住する 15 歳以上就業者・通学者は 1,847,954 人で、このうち就業者は 1,688,272 人、通学者は 159,682 人となっています。

前回と比べ総数は 12,778 人（0.7%）減少、就業者は 14,359 人（0.9%）増加、通学者は 27,137 人（14.5%）減少となっています。

従業地・通学地別の割合をみると、「市内で従業・通学」が 61.5%で前回（59.5%）から 2.0 ポイント上昇、「市外で従業・通学」が 38.5%で前回（40.5%）から 2.0 ポイント低下しています。

また、15 歳以上就業者の従業地別割合をみると、「市内で従業」が 61.8%と前回（60.0%）から 1.9 ポイント上昇し、うち「自宅で従業」が 8.6%で前回（6.5%）から 2.1 ポイント上昇しています。

【表 3-1、図 3-1、図 3-2】

図 3-1 従業地・通学地別 15 歳以上就業者・通学者の割合（平成 27 年、令和 2 年）

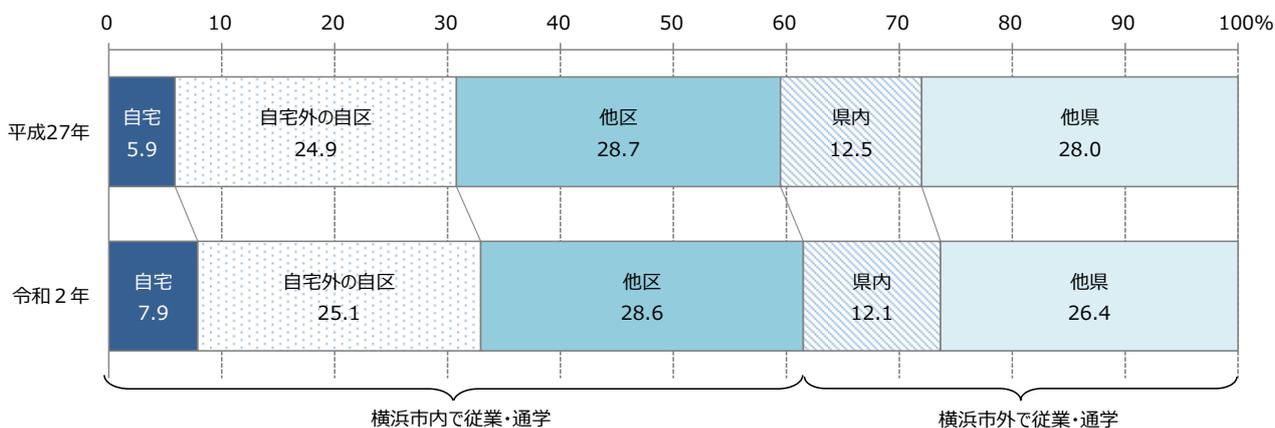


図 3-2 従業地・通学地別 15 歳以上就業者及び通学者の割合（令和 2 年）

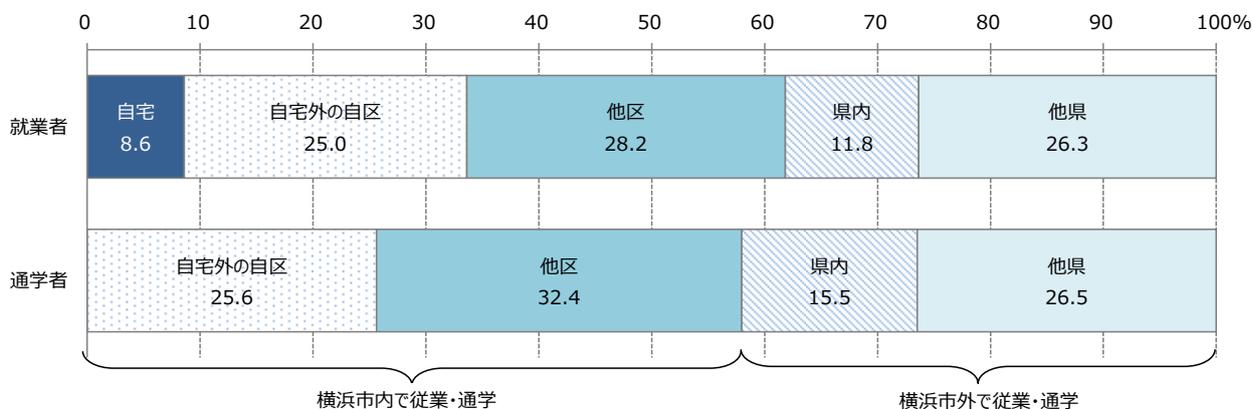


表3-1 従業地・通学地別 15歳以上就業者・通学者（平成27年、令和2年）

従業地・通学地	実数（人）		割合（％）		対前回比		
	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	割合 ポイント差	増減数 （人）	増減率 （％）
総数(15歳以上就業者・通学者)	1,860,732	1,847,954	100.0	100.0	-	△12,778	△0.7
市内で従業・通学	1,053,385	1,095,041	59.5	61.5	2.0	41,656	4.0
自宅で従業	104,081	140,195	5.9	7.9	2.0	36,114	34.7
市内で通勤・通学	949,304	954,846	53.6	53.6	0.0	5,542	0.6
自区	441,130	446,117	24.9	25.1	0.2	4,987	1.1
他区	508,174	508,729	28.7	28.6	△0.1	555	0.1
市外で従業・通学	717,782	685,403	40.5	38.5	△2.0	△32,379	△4.5
県内	221,656	216,204	12.5	12.1	△0.4	△5,452	△2.5
他県	496,126	469,199	28.0	26.4	△1.7	△26,927	△5.4
うち東京都特別区部	434,302	416,941	24.5	23.4	△1.1	△17,361	△4.0
不詳	89,565	67,510	-	-	-	△22,055	△24.6
就業者(15歳以上)	1,673,913	1,688,272	100.0	100.0	-	14,359	0.9
市内で従業	954,292	1,006,260	60.0	61.8	1.9	51,968	5.4
自宅で従業	104,081	140,195	6.5	8.6	2.1	36,114	34.7
市内で通勤	850,211	866,065	53.4	53.2	△0.2	15,854	1.9
自区	398,630	406,866	25.0	25.0	△0.0	8,236	2.1
他区	451,581	459,199	28.4	28.2	△0.2	7,618	1.7
市外で従業	637,474	621,078	40.0	38.2	△1.9	△16,396	△2.6
県内	193,753	192,409	12.2	11.8	△0.3	△1,344	△0.7
他県	443,721	428,669	27.9	26.3	△1.5	△15,052	△3.4
うち東京都特別区部	396,327	387,113	24.9	23.8	△1.1	△9,214	△2.3
不詳	82,147	60,934	-	-	-	△21,213	△25.8
通学者(15歳以上)	186,819	159,682	100.0	100.0	-	△27,137	△14.5
市内で通学	99,093	88,781	55.2	58.0	2.8	△10,312	△10.4
自区	42,500	39,251	23.7	25.6	1.9	△3,249	△7.6
他区	56,593	49,530	31.5	32.4	0.8	△7,063	△12.5
市外で通学	80,308	64,325	44.8	42.0	△2.8	△15,983	△19.9
県内	27,903	23,795	15.6	15.5	△0.0	△4,108	△14.7
他県	52,405	40,530	29.2	26.5	△2.7	△11,875	△22.7
うち東京都特別区部	37,975	29,828	21.2	19.5	△1.7	△8,147	△21.5
不詳	7,418	6,576	-	-	-	△842	△11.4

2 「市外で従業・通学」する者の割合は青葉区が最も高い

横浜市に常住する15歳以上就業者・通学者を行政区別にみると、「市内で従業・通学」の割合は磯子区が70.5%と最も高く、次いで南区（70.3%）、港南区（68.5%）となっています。

また、「市外で従業・通学」の割合は青葉区が53.1%と最も高く、次いで鶴見区（49.0%）、港北区（46.2%）となっています。このうち、東京都特別区部へ従業・通学する者の割合をみると、青葉区が36.0%と最も高く、次いで港北区（33.9%）、鶴見区（29.7%）となっています。

【表3-2】

表3-2 従業地・通学地別15歳以上就業者・通学者一市、行政区（令和2年）

行政区	15歳以上就業者・通学者								
	総数 ¹⁾	市内で従業・通学				市外で従業・通学			
		計	自宅で従業	自宅外の自区	他区	計	県内	他県	うち東京都特別区部
横浜市	1,847,954	1,095,041	140,195	446,117	508,729	685,403	216,204	469,199	416,941
鶴見区	147,391	71,829	11,186	38,429	22,214	69,049	23,647	45,402	41,804
神奈川区	122,886	73,462	9,764	26,434	37,264	44,963	10,931	34,032	30,942
西区	54,329	32,056	5,039	12,337	14,680	20,490	4,828	15,662	14,429
中区	66,009	42,509	6,105	21,917	14,487	20,399	4,450	15,949	14,594
南区	91,885	61,559	6,784	18,312	36,463	25,970	8,250	17,720	16,102
港南区	101,663	66,941	6,523	22,374	38,044	30,757	11,306	19,451	17,484
保土ヶ谷区	98,943	63,766	7,250	21,114	35,402	31,746	9,503	22,243	19,890
旭区	114,895	75,420	7,531	28,866	39,023	34,656	13,894	20,762	17,691
磯子区	81,490	55,082	5,059	17,788	32,235	23,039	8,126	14,913	13,456
金沢区	97,004	62,475	6,014	32,826	23,635	31,370	14,352	17,018	15,304
港北区	182,518	95,203	16,456	41,475	37,272	81,744	16,273	65,471	59,984
緑区	92,843	57,453	6,445	20,517	30,491	32,430	9,990	22,440	17,281
青葉区	156,397	71,090	13,979	33,807	23,304	80,558	17,292	63,266	54,562
都筑区	111,528	67,814	9,241	31,439	27,134	40,341	9,882	30,459	26,687
戸塚区	141,436	84,195	10,034	37,571	36,590	52,389	19,416	32,973	29,815
栄区	54,689	32,298	3,728	10,647	17,923	20,445	10,393	10,052	8,954
泉区	74,531	46,870	5,290	16,681	24,899	25,050	12,474	12,576	10,931
瀬谷区	57,517	35,019	3,767	13,583	17,669	20,007	11,197	8,810	7,031
横浜市	100.0	61.5	7.9	25.1	28.6	38.5	12.1	26.4	23.4
鶴見区	100.0	51.0	7.9	27.3	15.8	49.0	16.8	32.2	29.7
神奈川区	100.0	62.0	8.2	22.3	31.5	38.0	9.2	28.7	26.1
西区	100.0	61.0	9.6	23.5	27.9	39.0	9.2	29.8	27.5
中区	100.0	67.6	9.7	34.8	23.0	32.4	7.1	25.4	23.2
南区	100.0	70.3	7.8	20.9	41.7	29.7	9.4	20.2	18.4
港南区	100.0	68.5	6.7	22.9	38.9	31.5	11.6	19.9	17.9
保土ヶ谷区	100.0	66.8	7.6	22.1	37.1	33.2	9.9	23.3	20.8
旭区	100.0	68.5	6.8	26.2	35.5	31.5	12.6	18.9	16.1
磯子区	100.0	70.5	6.5	22.8	41.3	29.5	10.4	19.1	17.2
金沢区	100.0	66.6	6.4	35.0	25.2	33.4	15.3	18.1	16.3
港北区	100.0	53.8	9.3	23.4	21.1	46.2	9.2	37.0	33.9
緑区	100.0	63.9	7.2	22.8	33.9	36.1	11.1	25.0	19.2
青葉区	100.0	46.9	9.2	22.3	15.4	53.1	11.4	41.7	36.0
都筑区	100.0	62.7	8.5	29.1	25.1	37.3	9.1	28.2	24.7
戸塚区	100.0	61.6	7.3	27.5	26.8	38.4	14.2	24.1	21.8
栄区	100.0	61.2	7.1	20.2	34.0	38.8	19.7	19.1	17.0
泉区	100.0	65.2	7.4	23.2	34.6	34.8	17.3	17.5	15.2
瀬谷区	100.0	63.6	6.8	24.7	32.1	36.4	20.3	16.0	12.8

1) 実数に従業・通学市区町村「不詳・外国」及び従業地・通学地「不詳」を含む。

3 「市内で従業」の割合は男女とも上昇

横浜市に常住する15歳以上就業者の男女別、従業地別の割合をみると、「市内で従業」は男性が54.2%、女性が71.5%となっており、前回（男性51.7%、女性71.2%）と比べそれぞれ上昇しています。

「市外で従業」は男性が45.8%、女性が28.5%と前回（男性48.3%、女性28.8%）と比べ低下しています。

さらに年齢（5歳階級）別にみると、年齢階級が上がるごとに低くなっている「市内で従業」の割合は男性は「50～54歳」を境に、女性は「25～29歳」を境に年齢階級が上がるごとに高くなっています。

男性は「15～19歳」から「60～64歳」まで、女性は「15～19歳」から「50～54歳」までの「自宅」の割合が前回から上昇しています。

【表3-3、表3-4】

表3-3 男女、従業地、年齢（5歳階級）別15歳以上就業者の割合（平成27年、令和2年）

男女 従業地		15歳以上就業者の従業地別割合(%)														
		総数	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	(再掲) 65歳 以上
令和 2年	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内で従業	54.2	72.6	59.2	55.5	54.5	52.2	50.8	50.4	47.9	48.0	52.2	64.8	72.6	79.5	70.5
	自宅	9.0	1.9	4.5	6.8	7.0	7.7	8.1	7.6	8.3	8.7	9.9	13.0	16.8	29.6	17.7
	自宅外の自区	18.0	42.4	27.6	19.8	17.6	15.6	14.9	14.7	13.8	13.9	15.9	24.1	29.9	30.7	27.4
	他区	27.2	28.3	27.1	28.9	30.0	28.9	27.9	28.1	25.9	25.3	26.5	27.8	25.8	19.3	25.4
	市外で従業	45.8	27.4	40.8	44.5	45.5	47.8	49.2	49.6	52.1	52.0	47.8	35.2	27.4	20.5	29.5
	県内	13.9	11.1	12.7	14.4	15.0	14.8	14.7	14.9	14.9	14.6	13.5	11.7	9.8	6.9	10.1
	他県	31.9	16.3	28.1	30.1	30.6	33.0	34.4	34.7	37.2	37.4	34.3	23.5	17.6	13.6	19.5
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内で従業	71.5	72.2	57.1	56.1	60.3	66.3	71.2	74.3	75.3	77.2	81.2	86.3	88.1	91.6	88.0
自宅	8.2	1.3	3.2	5.4	7.0	8.1	7.8	6.9	7.1	7.7	9.3	13.2	17.7	36.9	19.7	
自宅外の自区	33.8	40.3	25.1	19.9	21.9	27.5	33.4	37.1	38.3	39.2	42.2	46.9	47.7	39.3	45.6	
他区	29.5	30.7	28.9	30.8	31.4	30.7	29.9	30.3	30.0	30.4	29.8	26.2	22.7	15.3	22.7	
市外で従業	28.5	27.8	42.9	43.9	39.7	33.7	28.8	25.7	24.7	22.8	18.8	13.7	11.9	8.4	12.0	
県内	9.2	10.9	11.5	11.2	10.8	9.8	9.3	8.9	8.9	8.6	8.0	6.8	6.1	3.9	6.0	
他県	19.3	16.9	31.4	32.7	28.9	24.0	19.5	16.9	15.8	14.2	10.8	6.9	5.8	4.5	6.0	
平成 27年	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内で従業	51.7	67.3	57.4	54.0	50.4	48.5	47.9	45.1	44.3	47.2	55.5	66.9	74.3	81.3	71.3
	自宅	6.2	1.0	1.5	1.9	2.6	3.3	4.1	4.9	5.4	6.7	8.9	14.5	20.8	37.8	20.1
	自宅外の自区	18.0	37.2	27.7	21.6	17.9	16.0	15.3	14.1	13.6	14.4	18.5	25.1	29.5	26.7	26.6
	他区	27.5	29.1	28.2	30.6	29.8	29.2	28.6	26.2	25.3	26.1	28.1	27.3	24.0	16.8	24.6
	市外で従業	48.3	32.7	42.6	46.0	49.6	51.5	52.1	54.9	55.7	52.8	44.5	33.1	25.7	18.7	28.7
	県内	14.3	12.6	13.4	15.3	15.6	15.4	15.4	15.5	15.2	14.4	13.3	10.7	8.8	5.5	9.4
	他県	33.9	20.1	29.2	30.7	34.0	36.1	36.7	39.4	40.5	38.4	31.2	22.3	16.9	13.2	19.3
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内で従業	71.2	67.5	55.9	55.8	59.1	64.6	71.3	74.6	76.7	79.5	83.6	86.7	89.3	92.1	88.3
自宅	7.0	0.6	0.9	2.0	3.9	5.0	5.2	5.3	6.3	8.0	10.9	16.3	25.9	47.7	24.2	
自宅外の自区	34.6	35.5	24.8	21.3	23.6	29.3	36.5	39.6	40.1	40.9	44.0	45.0	42.1	31.2	41.9	
他区	29.6	31.3	30.1	32.4	31.5	30.4	29.6	29.6	30.3	30.6	28.7	25.3	21.2	13.1	22.1	
市外で従業	28.8	32.5	44.1	44.2	40.9	35.4	28.7	25.4	23.3	20.5	16.4	13.3	10.7	7.9	11.7	
県内	9.2	11.3	12.2	11.8	11.0	10.2	9.1	8.7	8.5	8.2	7.3	6.6	5.0	3.3	5.6	
他県	19.6	21.2	31.9	32.4	29.9	25.2	19.6	16.8	14.8	12.2	9.1	6.8	5.8	4.6	6.1	

表3-4 男女、従業地、年齢（5歳階級）別15歳以上就業者（平成27年、令和2年）

男女 従業地		総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
令和 2年	男(15歳以上就業者)	942,361	11,739	54,611	70,019	74,182	85,709	99,840
	市内で従業	491,136	8,215	30,898	37,239	39,308	43,573	49,380
	自宅	81,280	212	2,363	4,549	5,017	6,431	7,886
	自宅外の自区	163,119	4,798	14,417	13,304	12,664	13,046	14,436
	他区	246,737	3,205	14,118	19,386	21,627	24,096	27,058
	市外で従業	415,304	3,095	21,279	29,832	32,841	39,945	47,750
	県内	126,071	1,253	6,613	9,627	10,791	12,384	14,322
	他県	289,233	1,842	14,666	20,205	22,050	27,561	33,428
	不詳	35,921	429	2,434	2,948	2,033	2,191	2,710
	女(15歳以上就業者)	745,911	13,194	57,325	65,915	59,905	65,237	78,515
	市内で従業	515,124	9,246	31,689	35,960	35,127	42,207	54,614
	自宅	58,915	163	1,751	3,462	4,102	5,129	6,008
	自宅外の自区	243,747	5,155	13,917	12,770	12,763	17,532	25,625
	他区	212,462	3,928	16,021	19,728	18,262	19,546	22,981
市外で従業	205,774	3,561	23,816	28,175	23,121	21,477	22,138	
県内	66,338	1,398	6,365	7,190	6,271	6,215	7,175	
他県	139,436	2,163	17,451	20,985	16,850	15,262	14,963	
不詳	25,013	387	1,820	1,780	1,657	1,553	1,763	
平成 27年	男(15歳以上就業者)	970,876	11,898	49,200	71,951	87,041	104,714	129,807
	市内で従業	475,439	7,764	26,347	35,794	40,931	47,958	59,040
	自宅	57,244	115	702	1,229	2,118	3,290	5,015
	自宅外の自区	165,692	4,293	12,704	14,288	14,573	15,805	18,811
	他区	252,503	3,356	12,941	20,277	24,240	28,863	35,214
	市外で従業	443,553	3,779	19,571	30,504	40,307	50,940	64,254
	県内	131,681	1,459	6,149	10,133	12,692	15,209	19,037
	他県	311,872	2,320	13,422	20,371	27,615	35,731	45,217
	不詳	51,884	355	3,282	5,653	5,803	5,816	6,513
	女(15歳以上就業者)	703,037	12,561	49,654	63,517	64,528	71,548	93,081
	市内で従業	478,853	8,307	26,488	33,549	36,100	44,136	63,947
	自宅	46,837	78	446	1,220	2,410	3,391	4,657
	自宅外の自区	232,938	4,373	11,764	12,819	14,418	20,016	32,753
	他区	199,078	3,856	14,278	19,510	19,272	20,729	26,537
市外で従業	193,921	4,008	20,876	26,600	24,989	24,148	25,691	
県内	62,072	1,397	5,764	7,103	6,697	6,952	8,166	
他県	131,849	2,611	15,112	19,497	18,292	17,196	17,525	
不詳	30,263	246	2,290	3,368	3,439	3,264	3,443	

単位：人

45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲) 65歳以上	男女 従業地	
122,542	119,587	103,300	76,484	54,602	42,197	27,549	124,348	男	令和 2年
59,974	55,670	48,197	38,605	33,514	28,128	18,435	80,077	市内で従業	
9,093	9,594	8,773	7,282	6,709	6,516	6,855	20,080	自宅	
17,515	16,015	13,996	11,763	12,463	11,592	7,110	31,165	自宅外の自区	
33,366	30,061	25,428	19,560	14,342	10,020	4,470	28,832	他区	
58,944	60,497	52,264	35,294	18,167	10,641	4,755	33,563	市外で従業	
17,703	17,300	14,671	9,959	6,039	3,815	1,594	11,448	県内	
41,241	43,197	37,593	25,335	12,128	6,826	3,161	22,115	他県	
3,624	3,420	2,839	2,585	2,921	3,428	4,359	10,708	不詳	
101,176	94,951	76,233	52,583	35,405	26,663	18,809	80,877	女	
73,420	69,849	57,345	41,200	28,838	21,379	14,250	64,467	市内で従業	
6,847	6,590	5,695	4,711	4,406	4,303	5,748	14,457	自宅	
36,629	35,483	29,099	21,402	15,671	11,579	6,122	33,372	自宅外の自区	
29,944	27,776	22,551	15,087	8,761	5,497	2,380	16,638	他区	
25,412	22,860	16,930	9,512	4,570	2,890	1,312	8,772	市外で従業	
8,756	8,207	6,358	4,038	2,274	1,482	609	4,365	県内	
16,656	14,653	10,572	5,474	2,296	1,408	703	4,407	他県	
2,344	2,242	1,958	1,871	1,997	2,394	3,247	7,638	不詳	
127,275	111,094	88,554	77,950	61,371	29,744	20,277	111,392	男	平成 27年
54,815	47,383	40,428	41,596	38,911	20,407	14,065	73,383	市内で従業	
5,905	5,806	5,737	6,639	8,436	5,716	6,536	20,688	自宅	
17,138	14,560	12,313	13,856	14,618	8,107	4,626	27,351	自宅外の自区	
31,772	27,017	22,378	21,101	15,857	6,584	2,903	25,344	他区	
66,624	59,489	45,154	33,405	19,230	7,058	3,238	29,526	市外で従業	
18,835	16,226	12,328	9,984	6,249	2,425	955	9,629	県内	
47,789	43,263	32,826	23,421	12,981	4,633	2,283	19,897	他県	
5,836	4,222	2,972	2,949	3,230	2,279	2,974	8,483	不詳	
92,646	78,780	60,141	47,745	37,324	18,580	12,932	68,836	女	
66,967	58,831	46,511	38,486	30,593	15,061	9,877	55,531	市内で従業	
4,792	4,868	4,687	5,033	5,756	4,377	5,122	15,255	自宅	
35,559	30,734	23,919	20,240	15,888	7,109	3,346	26,343	自宅外の自区	
26,616	23,229	17,905	13,213	8,949	3,575	1,409	13,933	他区	
22,839	17,875	11,977	7,541	4,712	1,813	852	7,377	市外で従業	
7,776	6,541	4,818	3,341	2,327	836	354	3,517	県内	
15,063	11,334	7,159	4,200	2,385	977	498	3,860	他県	
2,840	2,074	1,653	1,718	2,019	1,706	2,203	5,928	不詳	

IV 横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者 (昼間人口の常住地の状況)

1 市内で従業・通学する者のうち「市内に常住」する就業者は増加、通学者は減少

横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者は 1,568,391 人で、このうち就業者は 1,427,747 人、通学者は 140,644 人となっており、前回と比べ総数は 13,004 人 (0.8%) 増加、うち就業者は 31,118 人 (2.2%) 増加、通学者は 18,114 人 (11.4%) 減少となっています。

常住地別の割合をみると、「市内に常住」は 73.0%と前回と比べ 1.1 ポイント上昇し、「市外に常住」は 27.0%と前回と比べ 1.1 ポイント低下しています。

また、15 歳以上就業者の常住地別割合をみると、「市外に常住」が 26.4%と、前回と比べ 1.0 ポイント低下となっています。

【表 4-1、図 4-1、図 4-2】

図 4-1 横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者の常住地別割合

(平成 27 年、令和 2 年)

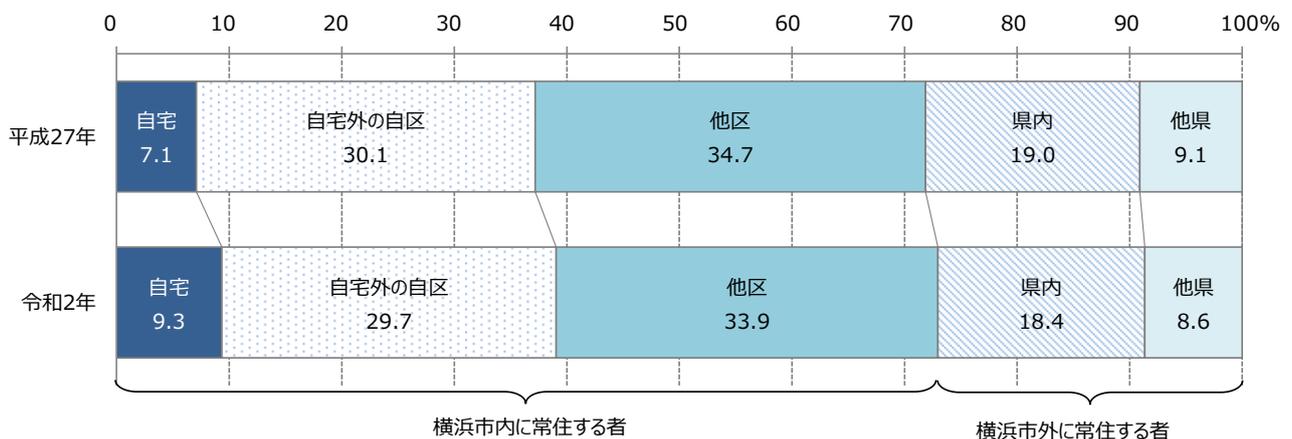


図 4-2 横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者及び通学者の常住地別割合

(令和 2 年)

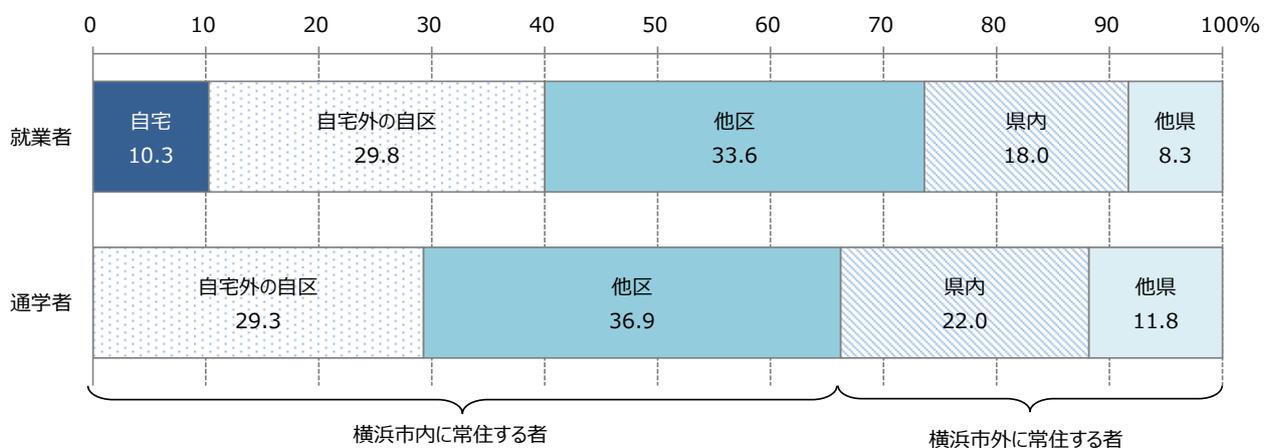


表4-1 横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者の常住地別人口

(平成27年、令和2年)

常住地	実数(人)		割合(%)		対前回比		
	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	割合 ポイント差	増減数 (人)	増減率 (%)
総数(15歳以上就業者・通学者)	1,555,387	1,568,391	100.0	100.0	-	13,004	0.8
市内に常住	1,053,385	1,095,041	71.9	73.0	1.1	41,656	4.0
自宅で従業	104,081	140,195	7.1	9.3	2.2	36,114	34.7
市内で通勤・通学	949,304	954,846	64.8	63.6	△1.1	5,542	0.6
自区	441,130	446,117	30.1	29.7	△0.4	4,987	1.1
他区	508,174	508,729	34.7	33.9	△0.8	555	0.1
市外に常住	412,437	405,840	28.1	27.0	△1.1	△6,597	△1.6
県内	279,163	276,117	19.0	18.4	△0.6	△3,046	△1.1
他県	133,274	129,723	9.1	8.6	△0.4	△3,551	△2.7
うち東京都特別区部	59,279	61,462	4.0	4.1	0.1	2,183	3.7
不詳	89,565	67,510	-	-	-	△22,055	△24.6
就業者(15歳以上)	1,396,629	1,427,747	100.0	100.0	-	31,118	2.2
市内に常住	954,292	1,006,260	72.6	73.6	1.0	51,968	5.4
自宅で従業	104,081	140,195	7.9	10.3	2.3	36,114	34.7
市内で通勤	850,211	866,065	64.7	63.4	△1.3	15,854	1.9
自区	398,630	406,866	30.3	29.8	△0.6	8,236	2.1
他区	451,581	459,199	34.4	33.6	△0.8	7,618	1.7
市外に常住	360,190	360,553	27.4	26.4	△1.0	363	0.1
県内	246,906	246,670	18.8	18.0	△0.7	△236	△0.1
他県	113,284	113,883	8.6	8.3	△0.3	599	0.5
うち東京都特別区部	50,536	54,122	3.8	4.0	0.1	3,586	7.1
不詳	82,147	60,934	-	-	-	△21,213	△25.8
通学者(15歳以上)	158,758	140,644	100.0	100.0	-	△18,114	△11.4
市内に常住	99,093	88,781	65.5	66.2	0.7	△10,312	△10.4
自区	42,500	39,251	28.1	29.3	1.2	△3,249	△7.6
他区	56,593	49,530	37.4	36.9	△0.5	△7,063	△12.5
市外に常住	52,247	45,287	34.5	33.8	△0.7	△6,960	△13.3
県内	32,257	29,447	21.3	22.0	0.6	△2,810	△8.7
他県	19,990	15,840	13.2	11.8	△1.4	△4,150	△20.8
うち東京都特別区部	8,743	7,340	5.8	5.5	△0.3	△1,403	△16.0
不詳	7,418	6,576	-	-	-	△842	△11.4

2 市外からの通勤・通学者の割合は、西区、青葉区、中区の順に高い

横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者を行政区別にみると、「市内に常住」の割合は南区が87.1%と最も高くなっています。このうち自宅従業者を除く「自区」の割合は旭区(44.0%)が最も高く、「他区」の割合は中区(50.3%)が最も高くなっています。

一方、「市外に常住」の割合は西区が40.6%と最も高く、次いで青葉区(31.3%)、中区(31.2%)となっています。そのうち、川崎市を含む「県内」の割合は、西区が25.5%と最も高く、次いで金沢区(23.0%)、栄区(22.5%)となっています。「他県」のうち「東京都特別区部」の割合をみると、西区が8.3%と最も高く、次いで港北区(6.6%)、鶴見区(5.7%)となっています。

【表4-2】

表4-2 横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者の常住地別人口一市、行政区
(令和2年)

行政区	15歳以上就業者・通学者								
	総数 ¹⁾	市内に常住				市外に常住			
		計	自宅で従業	自宅外の自区	他区	計	県内	他県	うち東京都特別区部
横浜市	1,568,391	1,095,041	140,195	446,117	508,729	405,840	276,117	129,723	61,462
鶴見区	116,562	78,484	11,186	38,429	28,869	31,565	20,841	10,724	6,220
神奈川区	119,870	80,189	9,764	26,434	43,991	35,220	22,863	12,357	5,916
西区	149,789	87,928	5,039	12,337	70,552	60,078	37,807	22,271	12,253
中区	154,878	104,378	6,105	21,917	76,356	47,399	32,353	15,046	8,003
南区	53,107	42,463	6,784	18,312	17,367	6,288	4,976	1,312	714
港南区	61,526	48,726	6,523	22,374	19,829	8,835	7,279	1,556	787
保土ヶ谷区	66,331	50,891	7,250	21,114	22,527	12,009	8,007	4,002	1,803
旭区	70,464	55,292	7,531	28,866	18,895	10,353	8,539	1,814	622
磯子区	55,093	41,613	5,059	17,788	18,766	10,111	7,402	2,709	1,170
金沢区	90,947	64,028	6,014	32,826	25,188	23,760	20,197	3,563	1,753
港北区	155,712	104,996	16,456	41,475	47,065	45,145	24,604	20,541	9,915
緑区	58,634	41,959	6,445	20,517	14,997	13,715	8,042	5,673	1,473
青葉区	94,720	61,814	13,979	33,807	14,028	28,157	17,257	10,900	3,756
都筑区	102,763	74,395	9,241	31,439	33,715	24,995	16,321	8,674	3,545
戸塚区	104,014	74,890	10,034	37,571	27,285	24,272	18,882	5,390	2,414
栄区	34,071	23,648	3,728	10,647	9,273	8,477	7,241	1,236	566
泉区	42,489	32,746	5,290	16,681	10,775	7,132	6,300	832	298
瀬谷区	37,421	26,601	3,767	13,583	9,251	8,329	7,206	1,123	254
横浜市	100.0	73.0	9.3	29.7	33.9	27.0	18.4	8.6	4.1
鶴見区	100.0	71.3	10.2	34.9	26.2	28.7	18.9	9.7	5.7
神奈川区	100.0	69.5	8.5	22.9	38.1	30.5	19.8	10.7	5.1
西区	100.0	59.4	3.4	8.3	47.7	40.6	25.5	15.0	8.3
中区	100.0	68.8	4.0	14.4	50.3	31.2	21.3	9.9	5.3
南区	100.0	87.1	13.9	37.6	35.6	12.9	10.2	2.7	1.5
港南区	100.0	84.7	11.3	38.9	34.4	15.3	12.6	2.7	1.4
保土ヶ谷区	100.0	80.9	11.5	33.6	35.8	19.1	12.7	6.4	2.9
旭区	100.0	84.2	11.5	44.0	28.8	15.8	13.0	2.8	0.9
磯子区	100.0	80.5	9.8	34.4	36.3	19.5	14.3	5.2	2.3
金沢区	100.0	72.9	6.9	37.4	28.7	27.1	23.0	4.1	2.0
港北区	100.0	69.9	11.0	27.6	31.3	30.1	16.4	13.7	6.6
緑区	100.0	75.4	11.6	36.9	26.9	24.6	14.4	10.2	2.6
青葉区	100.0	68.7	15.5	37.6	15.6	31.3	19.2	12.1	4.2
都筑区	100.0	74.9	9.3	31.6	33.9	25.1	16.4	8.7	3.6
戸塚区	100.0	75.5	10.1	37.9	27.5	24.5	19.0	5.4	2.4
栄区	100.0	73.6	11.6	33.1	28.9	26.4	22.5	3.8	1.8
泉区	100.0	82.1	13.3	41.8	27.0	17.9	15.8	2.1	0.7
瀬谷区	100.0	76.2	10.8	38.9	26.5	23.8	20.6	3.2	0.7

1) 従業地・通学地「不詳」又は従業・通学市区町村「不詳・外国」で横浜市に常住している者を含む。

3 市内で従業する者のうち「市内に常住」の就業者の割合は男性 67.3%、女性 80.9%

横浜市を従業地とする 15 歳以上就業者の男女別常住地別の割合をみると、男女とも「市内に常住」がそれぞれ 67.3%、80.9%で、「市外に常住」（男性 32.7%、女性 19.1%）を上回っています。

さらに年齢（5 歳階級）別にみると、男女ともに就業者数が最も多い年齢階級は「45～49 歳」で、「市内に常住」は男性が 63.2%、女性が 82.6%、「市外に常住」は男性が 36.8%、女性が 17.4%となっています。また、年齢階級が上がるごとに低くなっている女性の「市内に常住」の割合は「25～29 歳」を境に年齢階級が上がるごとに高くなっています。

【表 4-3、表 4-4】

表 4-3 横浜市を従業地とする 15 歳以上就業者の男女、年齢（5 歳階級）、常住地別割合
(平成 27 年、令和 2 年)

		単位：%														
男女 常住地		総数	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	(再掲) 65歳 以上
令和 2年	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内に常住	67.3	76.5	70.9	68.3	66.9	64.9	63.6	63.2	63.2	63.8	66.4	74.7	80.5	86.9	79.3
	自区	33.5	46.7	38.5	32.8	30.1	29.0	28.8	28.1	29.1	30.1	32.8	42.7	51.8	65.8	50.7
	他区	33.8	29.9	32.4	35.6	36.8	35.9	34.9	35.2	34.1	33.7	33.7	32.0	28.7	21.1	28.5
	市外に常住	32.7	23.5	29.1	31.7	33.1	35.1	36.4	36.8	36.8	36.2	33.6	25.3	19.5	13.1	20.7
	県内	21.4	16.9	19.9	21.2	21.8	23.1	23.7	23.9	23.1	22.9	21.7	17.3	13.8	9.0	14.3
	他県	11.3	6.6	9.2	10.4	11.2	11.9	12.7	12.8	13.6	13.3	11.8	8.0	5.8	4.1	6.4
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内に常住	80.9	78.7	71.4	70.3	72.7	77.0	80.6	82.6	83.6	84.7	86.5	89.4	91.1	94.1	91.0
	自区	47.5	45.3	35.3	31.7	34.9	41.3	46.7	48.9	50.3	51.4	54.8	62.2	67.7	78.4	67.5
他区	33.4	33.4	36.1	38.6	37.8	35.6	33.9	33.7	33.2	33.3	31.7	27.1	23.4	15.7	23.5	
市外に常住	19.1	21.3	28.6	29.7	27.3	23.0	19.4	17.4	16.4	15.3	13.5	10.6	8.9	5.9	9.0	
県内	14.2	16.0	20.9	21.3	19.5	16.7	14.6	13.2	12.5	11.6	10.3	8.2	6.7	4.4	6.9	
他県	4.9	5.3	7.7	8.4	7.8	6.3	4.9	4.2	4.0	3.7	3.2	2.4	2.2	1.6	2.2	
平成 27年	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内に常住	66.0	73.9	68.6	66.2	64.2	62.6	62.2	61.8	61.7	62.9	68.3	76.5	81.8	88.9	80.1
	自区	30.9	42.0	34.9	28.7	26.2	24.9	25.1	26.0	26.5	28.1	33.7	45.3	55.4	70.5	52.4
	他区	35.0	32.0	33.7	37.5	38.0	37.7	37.1	35.8	35.2	34.8	34.7	31.2	26.4	18.3	27.7
	市外に常住	34.0	26.1	31.4	33.8	35.8	37.4	37.8	38.2	38.3	37.1	31.7	23.5	18.2	11.1	19.9
	県内	22.3	18.6	21.8	23.2	24.2	25.0	25.0	23.8	23.9	23.2	21.2	16.2	12.6	7.4	13.7
	他県	11.7	7.4	9.6	10.7	11.6	12.4	12.8	14.4	14.4	13.9	10.5	7.3	5.6	3.7	6.2
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市内に常住	80.6	75.6	68.4	68.4	71.6	76.7	81.4	83.6	84.6	85.5	87.8	90.3	92.1	95.1	91.6
	自区	47.1	40.5	31.5	28.6	33.4	40.7	47.6	50.3	51.2	52.6	57.7	63.9	70.2	81.5	68.6
他区	33.5	35.1	36.9	39.8	38.2	36.0	33.8	33.2	33.4	32.9	30.1	26.4	21.9	13.6	23.0	
市外に常住	19.4	24.4	31.6	31.6	28.4	23.3	18.6	16.4	15.4	14.5	12.2	9.7	7.9	4.9	8.4	
県内	14.5	18.2	23.4	23.1	20.8	17.4	14.2	12.4	11.6	10.9	9.3	7.4	6.0	3.4	6.3	
他県	4.9	6.3	8.2	8.5	7.6	6.0	4.4	4.0	3.8	3.6	2.9	2.3	1.9	1.5	2.1	

表4-4 横浜市を従業地とする15歳以上就業者の男女、年齢（5歳階級）、常住地別人口

（平成27年、令和2年）

男女 常住地		総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
令和2年	男（15歳以上就業者）	765,741	11,163	46,001	57,439	60,748	69,283	80,325
	市内に常住	491,136	8,215	30,898	37,239	39,308	43,573	49,380
	自区	244,399	5,010	16,780	17,853	17,681	19,477	22,322
	他区	246,737	3,205	14,118	19,386	21,627	24,096	27,058
	市外に常住	238,684	2,519	12,669	17,252	19,407	23,519	28,235
	県内	156,273	1,815	8,669	11,575	12,825	15,516	18,393
	他県	82,411	704	4,000	5,677	6,582	8,003	9,842
	不詳	35,921	429	2,434	2,948	2,033	2,191	2,710
	女（15歳以上就業者）	662,006	12,137	46,233	52,950	49,996	56,385	69,536
	市内に常住	515,124	9,246	31,689	35,960	35,127	42,207	54,614
	自区	302,662	5,318	15,668	16,232	16,865	22,661	31,633
	他区	212,462	3,928	16,021	19,728	18,262	19,546	22,981
	市外に常住	121,869	2,504	12,724	15,210	13,212	12,625	13,159
	県内	90,397	1,883	9,296	10,910	9,445	9,178	9,863
他県	31,472	621	3,428	4,300	3,767	3,447	3,296	
不詳	25,013	387	1,820	1,780	1,657	1,553	1,763	
平成27年	男（15歳以上就業者）	772,555	10,856	41,712	59,753	69,585	82,472	101,476
	市内に常住	475,439	7,764	26,347	35,794	40,931	47,958	59,040
	自区	222,936	4,408	13,406	15,517	16,691	19,095	23,826
	他区	252,503	3,356	12,941	20,277	24,240	28,863	35,214
	市外に常住	245,232	2,737	12,083	18,306	22,851	28,698	35,923
	県内	161,056	1,958	8,393	12,540	15,437	19,178	23,728
	他県	84,176	779	3,690	5,766	7,414	9,520	12,195
	不詳	51,884	355	3,282	5,653	5,803	5,816	6,513
	女（15歳以上就業者）	624,074	11,238	41,016	52,417	53,875	60,826	81,973
	市内に常住	478,853	8,307	26,488	33,549	36,100	44,136	63,947
	自区	279,775	4,451	12,210	14,039	16,828	23,407	37,410
	他区	199,078	3,856	14,278	19,510	19,272	20,729	26,537
	市外に常住	114,958	2,685	12,238	15,500	14,336	13,426	14,583
	県内	85,850	1,998	9,077	11,315	10,480	9,992	11,117
他県	29,108	687	3,161	4,185	3,856	3,434	3,466	
不詳	30,263	246	2,290	3,368	3,439	3,264	3,443	

単位：人

45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲) 65歳以上	男女 常住地	
98,476	91,470	78,388	60,705	47,788	38,388	25,567	111,743	男	令和 2年
59,974	55,670	48,197	38,605	33,514	28,128	18,435	80,077	市内に常住	
26,608	25,609	22,769	19,045	19,172	18,108	13,965	51,245	自区	
33,366	30,061	25,428	19,560	14,342	10,020	4,470	28,832	他区	
34,878	32,380	27,352	19,515	11,353	6,832	2,773	20,958	市外に常住	
22,695	20,367	17,310	12,635	7,765	4,809	1,899	14,473	県内	
12,183	12,013	10,042	6,880	3,588	2,023	874	6,485	他県	
3,624	3,420	2,839	2,585	2,921	3,428	4,359	10,708	不詳	
91,221	85,838	69,667	49,527	34,271	25,852	18,393	78,516	女	
73,420	69,849	57,345	41,200	28,838	21,379	14,250	64,467	市内に常住	
43,476	42,073	34,794	26,113	20,077	15,882	11,870	47,829	自区	
29,944	27,776	22,551	15,087	8,761	5,497	2,380	16,638	他区	
15,457	13,747	10,364	6,456	3,436	2,079	896	6,411	市外に常住	
11,756	10,423	7,853	4,909	2,650	1,572	659	4,881	県内	
3,701	3,324	2,511	1,547	786	507	237	1,530	他県	
2,344	2,242	1,958	1,871	1,997	2,394	3,247	7,638	不詳	
94,471	81,075	67,239	63,819	54,081	27,216	18,800	100,097	男	平成 27年
54,815	47,383	40,428	41,596	38,911	20,407	14,065	73,383	市内に常住	
23,043	20,366	18,050	20,495	23,054	13,823	11,162	48,039	自区	
31,772	27,017	22,378	21,101	15,857	6,584	2,903	25,344	他区	
33,820	29,470	23,839	19,274	11,940	4,530	1,761	18,231	市外に常住	
21,096	18,376	14,896	12,897	8,244	3,142	1,171	12,557	県内	
12,724	11,094	8,943	6,377	3,696	1,388	590	5,674	他県	
5,836	4,222	2,972	2,949	3,230	2,279	2,974	8,483	不詳	
82,983	71,608	56,040	45,555	35,886	18,064	12,593	66,543	女	
66,967	58,831	46,511	38,486	30,593	15,061	9,877	55,531	市内に常住	
40,351	35,602	28,606	25,273	21,644	11,486	8,468	41,598	自区	
26,616	23,229	17,905	13,213	8,949	3,575	1,409	13,933	他区	
13,176	10,703	7,876	5,351	3,274	1,297	513	5,084	市外に常住	
9,963	8,058	5,944	4,073	2,495	981	357	3,833	県内	
3,213	2,645	1,932	1,278	779	316	156	1,251	他県	
2,840	2,074	1,653	1,718	2,019	1,706	2,203	5,928	不詳	

V 流出・流入人口（15歳以上通勤・通学者）

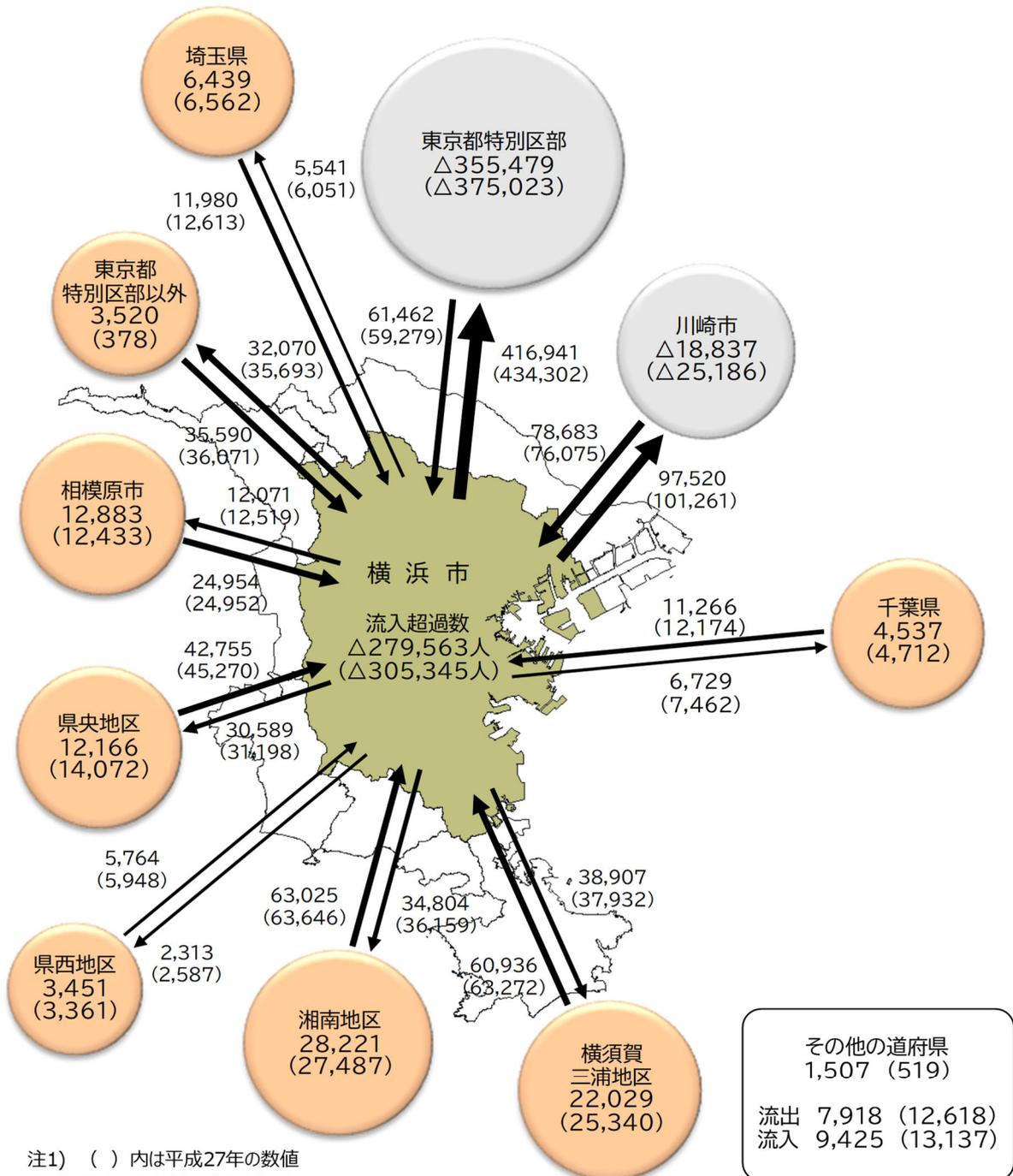
1 流入超過数は前回と比べ25,782人増加

15歳以上就業者・通学者の横浜市からの流出口（市外へ通勤・通学する者）は685,403人で、前回と比べ32,379人（4.5%）減少しています。一方、横浜市への流入人口（市外から通勤・通学する者）は405,840人で、6,597人（1.6%）減少しています。

流出口が流入人口を279,563人上回り、流出超過となっているものの、流出超過数は前回（305,345人）と比べ25,782人（8.4%）減少しています。

【表5-1、表5-2、表5-3、図5-1】

図5-1 流出・流入地域別15歳以上通勤・通学者数（平成27年、令和2年）



注1) ()内は平成27年の数値

注2) 県内の各地域の市町村は次のとおり

横須賀三浦地区 … 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町

県央地区 … 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村

湘南地区 … 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町

県西地区 … 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

注3) 流入超過数は流入人口から流出口を引いた数

表5-1 流出・流入地域別15歳以上就業者・通学者（平成27年、令和2年）

従業地・通学地 又は 常住地	平成27年(人)			令和2年(人)			流出入地域別割合(%)			
	常住者の 従業地・ 通学地別 人口 A	就業者・ 通学者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	常住者の 従業地・ 通学地別 人口 A	就業者・ 通学者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	平成27年		令和2年	
							流出	流入	流出	流入
総数	1,860,732	1,555,387	△305,345	1,847,954	1,568,391	△279,563	-	-	-	-
市内	1,053,385	1,053,385	-	1,095,041	1,095,041	-	-	-	-	-
市外(流出先・流入元)	717,782	412,437	△305,345	685,403	405,840	△279,563	100.0	100.0	100.0	100.0
県内	221,656	279,163	57,507	216,204	276,117	59,913	30.9	67.7	31.5	68.0
川崎市	101,261	76,075	△25,186	97,520	78,683	△18,837	14.1	18.4	14.2	19.4
相模原市	12,519	24,952	12,433	12,071	24,954	12,883	1.7	6.0	1.8	6.1
横須賀三浦地区	37,932	63,272	25,340	38,907	60,936	22,029	5.3	15.3	5.7	15.0
横須賀市	18,385	35,879	17,494	19,467	34,466	14,999	2.6	8.7	2.8	8.5
鎌倉市	15,950	15,537	△413	16,000	15,447	△553	2.2	3.8	2.3	3.8
逗子市	2,642	5,977	3,335	2,471	5,734	3,263	0.4	1.4	0.4	1.4
県央地区	31,198	45,270	14,072	30,589	42,755	12,166	4.3	11.0	4.5	10.5
大和市	10,618	20,327	9,709	10,931	18,768	7,837	1.5	4.9	1.6	4.6
湘南地区	36,159	63,646	27,487	34,804	63,025	28,221	5.0	15.4	5.1	15.5
藤沢市	23,171	31,848	8,677	22,748	32,653	9,905	3.2	7.7	3.3	8.0
県西地区	2,587	5,948	3,361	2,313	5,764	3,451	0.4	1.4	0.3	1.4
他県	496,126	133,274	△362,852	469,199	129,723	△339,476	69.1	32.3	68.5	32.0
東京都	469,995	95,350	△374,645	449,011	97,052	△351,959	65.5	23.1	65.5	23.9
特別区部	434,302	59,279	△375,023	416,941	61,462	△355,479	60.5	14.4	60.8	15.1
特別区部以外	35,693	36,071	378	32,070	35,590	3,520	5.0	8.7	4.7	8.8
町田市	12,987	18,283	5,296	12,442	19,088	6,646	1.8	4.4	1.8	4.7
埼玉県	6,051	12,613	6,562	5,541	11,980	6,439	0.8	3.1	0.8	3.0
千葉県	7,462	12,174	4,712	6,729	11,266	4,537	1.0	3.0	1.0	2.8
その他の道府県	12,618	13,137	519	7,918	9,425	1,507	1.8	3.2	1.2	2.3
不詳	89,565	89,565	-	67,510	67,510	-	-	-	-	-

従業地・通学地 又は 常住地	対前回比								
	増減数(人)			増減率(%)			地域別割合 ポイント差		
	常住者の 従業地・ 通学地別 人口 A	就業者・ 通学者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	常住者の 従業地・ 通学地別 人口 A	就業者・ 通学者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	流出	流入	
総数	△12,778	13,004	25,782	△0.7	0.8	8.4	-	-	
市内	41,656	41,656	-	4.0	4.0	-	-	-	
市外(流出先・流入元)	△32,379	△6,597	25,782	△4.5	△1.6	8.4	-	-	
県内	△5,452	△3,046	2,406	△2.5	△1.1	4.2	0.7	0.3	
川崎市	△3,741	2,608	6,349	△3.7	3.4	25.2	0.1	0.9	
相模原市	△448	2	450	△3.6	0.0	3.6	0.0	0.1	
横須賀三浦地区	975	△2,336	△3,311	2.6	△3.7	△13.1	0.4	△0.3	
横須賀市	1,082	△1,413	△2,495	5.9	△3.9	△14.3	0.3	△0.2	
鎌倉市	50	△90	△140	0.3	△0.6	△33.9	0.1	0.0	
逗子市	△171	△243	△72	△6.5	△4.1	△2.2	△0.0	△0.0	
県央地区	△609	△2,515	△1,906	△2.0	△5.6	△13.5	0.1	△0.4	
大和市	313	△1,559	△1,872	2.9	△7.7	△19.3	0.1	△0.3	
湘南地区	△1,355	△621	734	△3.7	△1.0	2.7	0.0	0.1	
藤沢市	△423	805	1,228	△1.8	2.5	14.2	0.1	0.3	
県西地区	△274	△184	90	△10.6	△3.1	2.7	△0.0	△0.0	
他県	△26,927	△3,551	23,376	△5.4	△2.7	6.4	△0.7	△0.3	
東京都	△20,984	1,702	22,686	△4.5	1.8	6.1	0.0	0.8	
特別区部	△17,361	2,183	19,544	△4.0	3.7	5.2	0.3	0.8	
特別区部以外	△3,623	△481	3,142	△10.2	△1.3	831.2	△0.3	0.0	
町田市	△545	805	1,350	△4.2	4.4	25.5	0.0	0.3	
埼玉県	△510	△633	△123	△8.4	△5.0	△1.9	△0.0	△0.1	
千葉県	△733	△908	△175	△9.8	△7.5	△3.7	△0.1	△0.2	
その他の道府県	△4,700	△3,712	988	△37.2	△28.3	190.4	△0.6	△0.9	
不詳	△22,055	△22,055	-	△24.6	△24.6	-	-	-	

表5-2 流出・流入地域別 15歳以上就業者（平成27年、令和2年）

従業地 又は 常住地	平成27年(人)			令和2年(人)			流出入地域別割合(%)			
	常住者の 従業地別 人口 A	就業者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	常住者の 従業地別 人口 A	就業者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	平成27年		令和2年	
							流出	流入	流出	流入
就業者	1,673,913	1,396,629	△277,284	1,688,272	1,427,747	△260,525	-	-	-	-
市内	954,292	954,292	-	1,006,260	1,006,260	-	-	-	-	-
市外(流出先・流入元)	637,474	360,190	△277,284	621,078	360,553	△260,525	100.0	100.0	100.0	100.0
県内	193,753	246,906	53,153	192,409	246,670	54,261	30.4	68.5	31.0	68.4
川崎市	95,184	66,806	△28,378	92,196	69,429	△22,767	14.9	18.5	14.8	19.3
相模原市	9,160	22,376	13,216	9,056	22,704	13,648	1.4	6.2	1.5	6.3
横須賀三浦地区	31,069	56,394	25,325	32,475	54,781	22,306	4.9	15.7	5.2	15.2
横須賀市	15,489	32,318	16,829	16,606	31,325	14,719	2.4	9.0	2.7	8.7
鎌倉市	12,922	13,736	814	13,233	13,706	473	2.0	3.8	2.1	3.8
逗子市	1,753	5,230	3,477	1,720	5,063	3,343	0.3	1.5	0.3	1.4
県央地区	28,220	40,390	12,170	28,146	38,578	10,432	4.4	11.2	4.5	10.7
大和市	9,439	18,199	8,760	9,886	17,119	7,233	1.5	5.1	1.6	4.7
湘南地区	27,810	56,180	28,370	28,379	56,376	27,997	4.4	15.6	4.6	15.6
藤沢市	18,027	28,376	10,349	18,405	29,299	10,894	2.8	7.9	3.0	8.1
県西地区	2,310	4,760	2,450	2,157	4,802	2,645	0.4	1.3	0.3	1.3
他県	443,721	113,284	△330,437	428,669	113,883	△314,786	69.6	31.5	69.0	31.6
東京都	420,754	82,854	△337,900	410,831	86,834	△323,997	66.0	23.0	66.1	24.1
特別区部	396,327	50,536	△345,791	387,113	54,122	△332,991	62.2	14.0	62.3	15.0
特別区部以外	24,427	32,318	7,891	23,718	32,712	8,994	3.8	9.0	3.8	9.1
町田市	9,227	16,725	7,498	9,667	17,706	8,039	1.4	4.6	1.6	4.9
埼玉県	4,923	10,537	5,614	4,751	10,499	5,748	0.8	2.9	0.8	2.9
千葉県	6,385	10,270	3,885	5,847	9,981	4,134	1.0	2.9	0.9	2.8
その他の道府県	11,659	9,623	△2,036	7,240	6,569	△671	1.8	2.7	1.2	1.8
不詳	82,147	82,147	-	60,934	60,934	-	-	-	-	-

従業地 又は 常住地	対前回比							
	増減数(人)			増減率(%)			地域別割合 ポイント差	
	常住者の 従業地別 人口 A	就業者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	常住者の 従業地別 人口 A	就業者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	流出	流入
就業者	14,359	31,118	16,759	0.9	2.2	6.0	-	-
市内	51,968	51,968	-	5.4	5.4	-	-	-
市外(流出先・流入元)	△16,396	363	16,759	△2.6	0.1	6.0	-	-
県内	△1,344	△236	1,108	△0.7	△0.1	2.1	0.6	△0.1
川崎市	△2,988	2,623	5,611	△3.1	3.9	19.8	△0.1	0.7
相模原市	△104	328	432	△1.1	1.5	3.3	0.0	0.1
横須賀三浦地区	1,406	△1,613	△3,019	4.5	△2.9	△11.9	0.4	△0.5
横須賀市	1,117	△993	△2,110	7.2	△3.1	△12.5	0.2	△0.3
鎌倉市	311	△30	△341	2.4	△0.2	△41.9	0.1	△0.0
逗子市	△33	△167	△134	△1.9	△3.2	△3.9	0.0	△0.0
県央地区	△74	△1,812	△1,738	△0.3	△4.5	△14.3	0.1	△0.5
大和市	447	△1,080	△1,527	4.7	△5.9	△17.4	0.1	△0.3
湘南地区	569	196	△373	2.0	0.3	△1.3	0.2	0.0
藤沢市	378	923	545	2.1	3.3	5.3	0.1	0.2
県西地区	△153	42	195	△6.6	0.9	8.0	△0.0	0.0
他県	△15,052	599	15,651	△3.4	0.5	4.7	△0.6	0.1
東京都	△9,923	3,980	13,903	△2.4	4.8	4.1	0.1	1.1
特別区部	△9,214	3,586	12,800	△2.3	7.1	3.7	0.2	1.0
特別区部以外	△709	394	1,103	△2.9	1.2	14.0	△0.0	0.1
町田市	440	981	541	4.8	5.9	7.2	0.1	0.3
埼玉県	△172	△38	134	△3.5	△0.4	2.4	△0.0	△0.0
千葉県	△538	△289	249	△8.4	△2.8	6.4	△0.1	△0.1
その他の道府県	△4,419	△3,054	1,365	△37.9	△31.7	67.0	△0.7	△0.8
不詳	△21,213	△21,213	-	△25.8	△25.8	-	-	-

表5-3 流出・流入地域別 15歳以上通学者（平成27年、令和2年）

通学地 又は 常住地	平成27年(人)			令和2年(人)			流出入地域別割合(%)			
	常住者の 通学地別 人口 A	通学者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	常住者の 通学地別 人口 B	通学者の 常住地別 人口 A	流入超過数 B-A	平成27年		令和2年	
							流出	流入	流出	流入
通学者	186,819	158,758	△28,061	159,682	140,644	△19,038	-	-	-	-
市内	99,093	99,093	-	88,781	88,781	-	-	-	-	-
市外(流出先・流入元)	80,308	52,247	△28,061	64,325	45,287	△19,038	100.0	100.0	100.0	100.0
県内	27,903	32,257	4,354	23,795	29,447	5,652	34.7	61.7	37.0	65.0
川崎市	6,077	9,269	3,192	5,324	9,254	3,930	7.6	17.7	8.3	20.4
相模原市	3,359	2,576	△783	3,015	2,250	△765	4.2	4.9	4.7	5.0
横須賀三浦地区	6,863	6,878	15	6,432	6,155	△277	8.5	13.2	10.0	13.6
横須賀市	2,896	3,561	665	2,861	3,141	280	3.6	6.8	4.4	6.9
鎌倉市	3,028	1,801	△1,227	2,767	1,741	△1,026	3.8	3.4	4.3	3.8
逗子市	889	747	△142	751	671	△80	1.1	1.4	1.2	1.5
県央地区	2,978	4,880	1,902	2,443	4,177	1,734	3.7	9.3	3.8	9.2
大和市	1,179	2,128	949	1,045	1,649	604	1.5	4.1	1.6	3.6
湘南地区	8,349	7,466	△883	6,425	6,649	224	10.4	14.3	10.0	14.7
藤沢市	5,144	3,472	△1,672	4,343	3,354	△989	6.4	6.6	6.8	7.4
県西地区	277	1,188	911	156	962	806	0.3	2.3	0.2	2.1
他県	52,405	19,990	△32,415	40,530	15,840	△24,690	65.3	38.3	63.0	35.0
東京都	49,241	12,496	△36,745	38,180	10,218	△27,962	61.3	23.9	59.4	22.6
特別区部	37,975	8,743	△29,232	29,828	7,340	△22,488	47.3	16.7	46.4	16.2
特別区部以外	11,266	3,753	△7,513	8,352	2,878	△5,474	14.0	7.2	13.0	6.4
町田市	3,760	1,558	△2,202	2,775	1,382	△1,393	4.7	3.0	4.3	3.1
埼玉県	1,128	2,076	948	790	1,481	691	1.4	4.0	1.2	3.3
千葉県	1,077	1,904	827	882	1,285	403	1.3	3.6	1.4	2.8
その他の道府県	959	3,514	2,555	678	2,856	2,178	1.2	6.7	1.1	6.3
不詳	7,418	7,418	-	6,576	6,576	-	-	-	-	-

通学地 又は 常住地	対前回比							
	増減数(人)			増減率(%)			地域別割合 ポイント差	
	常住者の 通学地別 人口 A	通学者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	常住者の 通学地別 人口 A	通学者の 常住地別 人口 B	流入超過数 B-A	流出	流入
通学者	△27,137	△18,114	9,023	△14.5	△11.4	32.2	-	-
市内	△10,312	△10,312	-	△10.4	△10.4	-	-	-
市外(流出先・流入元)	△15,983	△6,960	9,023	△19.9	△13.3	32.2	-	-
県内	△4,108	△2,810	1,298	△14.7	△8.7	29.8	2.2	3.3
川崎市	△753	△15	738	△12.4	△0.2	23.1	0.7	2.7
相模原市	△344	△326	18	△10.2	△12.7	2.3	0.5	0.0
横須賀三浦地区	△431	△723	△292	△6.3	△10.5	△1946.7	1.5	0.4
横須賀市	△35	△420	△385	△1.2	△11.8	△57.9	0.8	0.1
鎌倉市	△261	△60	201	△8.6	△3.3	16.4	0.5	0.4
逗子市	△138	△76	62	△15.5	△10.2	43.7	0.1	0.1
県央地区	△535	△703	△168	△18.0	△14.4	△8.8	0.1	△0.1
大和市	△134	△479	△345	△11.4	△22.5	△36.4	0.2	△0.4
湘南地区	△1,924	△817	1,107	△23.0	△10.9	125.4	△0.4	0.4
藤沢市	△801	△118	683	△15.6	△3.4	40.8	0.3	0.8
県西地区	△121	△226	△105	△43.7	△19.0	△11.5	△0.1	△0.1
他県	△11,875	△4,150	7,725	△22.7	△20.8	23.8	△2.2	△3.3
東京都	△11,061	△2,278	8,783	△22.5	△18.2	23.9	△2.0	△1.4
特別区部	△8,147	△1,403	6,744	△21.5	△16.0	23.1	△0.9	△0.5
特別区部以外	△2,914	△875	2,039	△25.9	△23.3	27.1	△1.0	△0.8
町田市	△985	△176	809	△26.2	△11.3	36.7	△0.4	0.1
埼玉県	△338	△595	△257	△30.0	△28.7	△27.1	△0.2	△0.7
千葉県	△195	△619	△424	△18.1	△32.5	△51.3	0.0	△0.8
その他の道府県	△281	△658	△377	△29.3	△18.7	△14.8	△0.1	△0.4
不詳	△842	△842	-	△11.4	△11.4	-	-	-

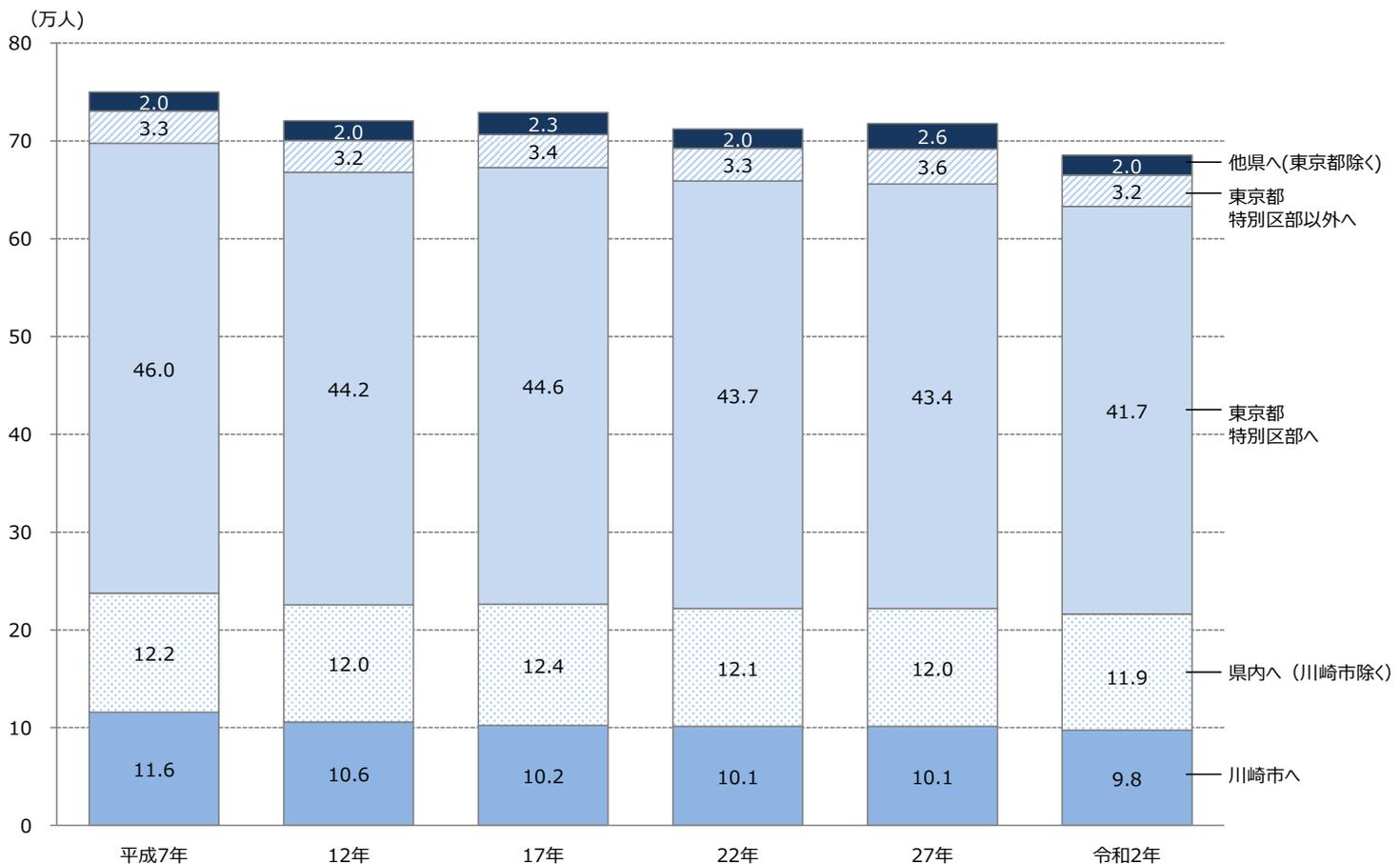
2 「他県」へ通勤・通学する者は、26,927人(5.4%)減少

横浜市に常住する15歳以上通勤・通学者の横浜市からの流出人口(685,403人)を従業地・通学地別にみると、「他県」への流出は469,199人(流出人口の68.5%)で、前回と比べ26,927人(5.4%)減少しています。「県内」への流出は216,204人(同31.5%)で、前回と比べ5,452人(2.5%)減少しています。

「他県」への流出人口のうち、「東京都」が449,011人(流出人口の65.5%)と最も多く、前回と比べ20,984人(4.5%)減少しています。そして、「特別区部」が416,941人(同60.8%)で、前回と比べ17,361人(4.0%)減少、「特別区部以外」が32,070人(同4.7%)で、前回と比べ3,623人(10.2%)減少しています。また、「県内」への流出人口のうち、「川崎市」が97,520人(流出人口の14.2%)と最も多く、前回と比べ3,741人(3.7%)減少、次いで「横須賀三浦地区」が38,907人(同5.7%)で、前回と比べ975人(2.6%)増加、「湘南地区」が34,804人(同5.1%)で、前回と比べ1,355人(3.7%)減少しています。

【表5-1、図5-2】

図5-2 横浜市からの流出人口(15歳以上通勤・通学者)の推移(平成7年~令和2年)



3 市外から通勤・通学する者のうち、「県内」の通勤・通学者が68.0%

横浜市を従業地・通学地とする15歳以上通勤・通学者の横浜市への流入人口(405,840人)を常住地別にみると、「県内」からの流入は276,117人(流入人口の68.0%)で、前回と比べ3,046人(1.1%)減少、「他県」からの流入は129,723人(同32.0%)で、前回と比べ3,551人(2.7%)減少しています。

「他県」からの流入人口のうち、「東京都」が97,052人(流入人口の23.9%)と最も多く、前回と比べ1,702人(1.8%)増加しています。そして、「特別区部」が61,462人(同15.1%)で、前回と比べ2,183人(3.7%)増加、「特別区部以外」が35,590人(同8.8%)で、前回と比べ481人(1.3%)減少しています。また、「県内」からの流入人口のうち、「川崎市」が78,683人(流入人口の19.4%)と最も多く、前回と比べ2,608人(3.4%)増加、次いで、「湘南地区」が63,025人(同15.5%)で、前回と比べ621人(1.0%)減少、「横須賀三浦地区」が60,936人(同15.0%)で、前回と比べ2,336人(3.7%)減少しています。

【表5-1、図5-3】

図5-3 横浜市への流入人口(15歳以上通勤・通学者)の推移(平成7年~令和2年)



4 瀬谷区を除く 17 区で「東京都特別区部へ」の流出が最も多い

横浜市に常住する 15 歳以上通勤・通学者について、横浜市からの流出人口（685,403 人）を行政区別に上位 3 区をみると、「東京都特別区部へ」は港北区が 59,984 人、青葉区が 54,562 人、鶴見区が 41,804 人となっています。「川崎市へ」は鶴見区が 20,784 人、港北区が 11,710 人、青葉区が 10,822 人となっています。「県内へ（川崎市除く）」の流出は戸塚区が 14,488 人、金沢区が 11,527 人、泉区が 10,135 人となっています。

また、横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上通勤・通学者について、横浜市への流入人口（405,840 人）を行政区別に上位 3 区をみると、「川崎市から」は鶴見区が 12,654 人、港北区が 11,930 人、青葉区が 9,654 人となっています。「東京都特別区部から」は西区が 12,253 人、港北区が 9,915 人、中区が 8,003 人となっています。「県内から（川崎市除く）」は西区が 28,474 人、中区が 25,234 人、金沢区が 18,665 人となっています。

【表 5-4、表 5-5、表 5-6、表 5-7、図 5-4、図 5-5】

図 5-4 流出地域別 15 歳以上通勤・通学者の割合—行政区（令和 2 年）

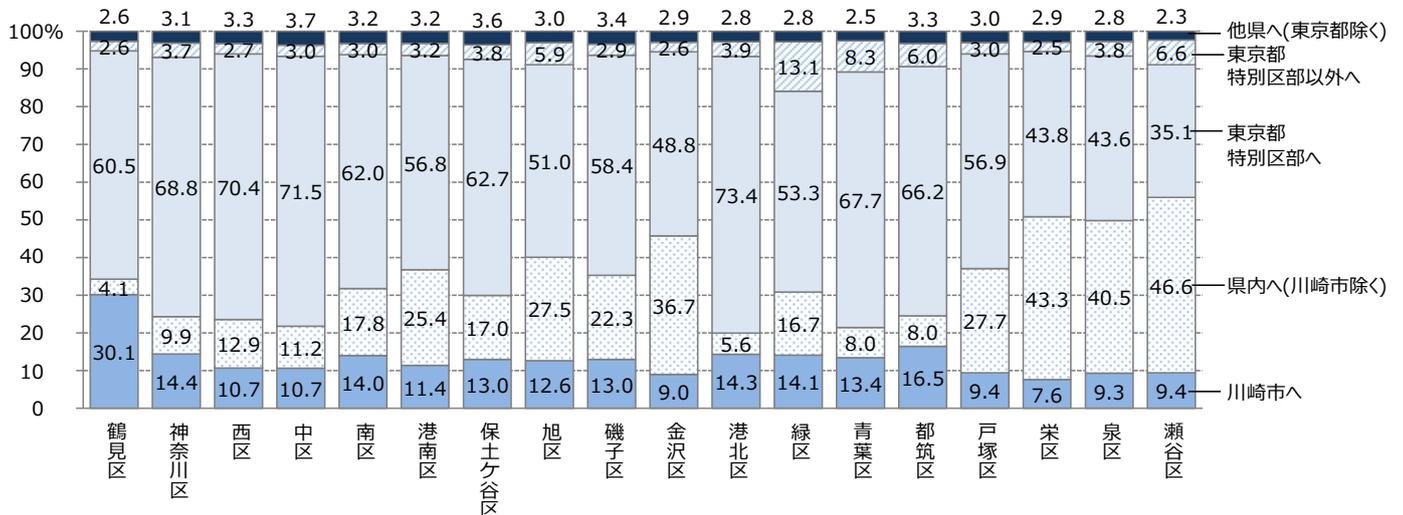


図 5-5 流入地域別 15 歳以上通勤・通学者の割合—行政区（令和 2 年）

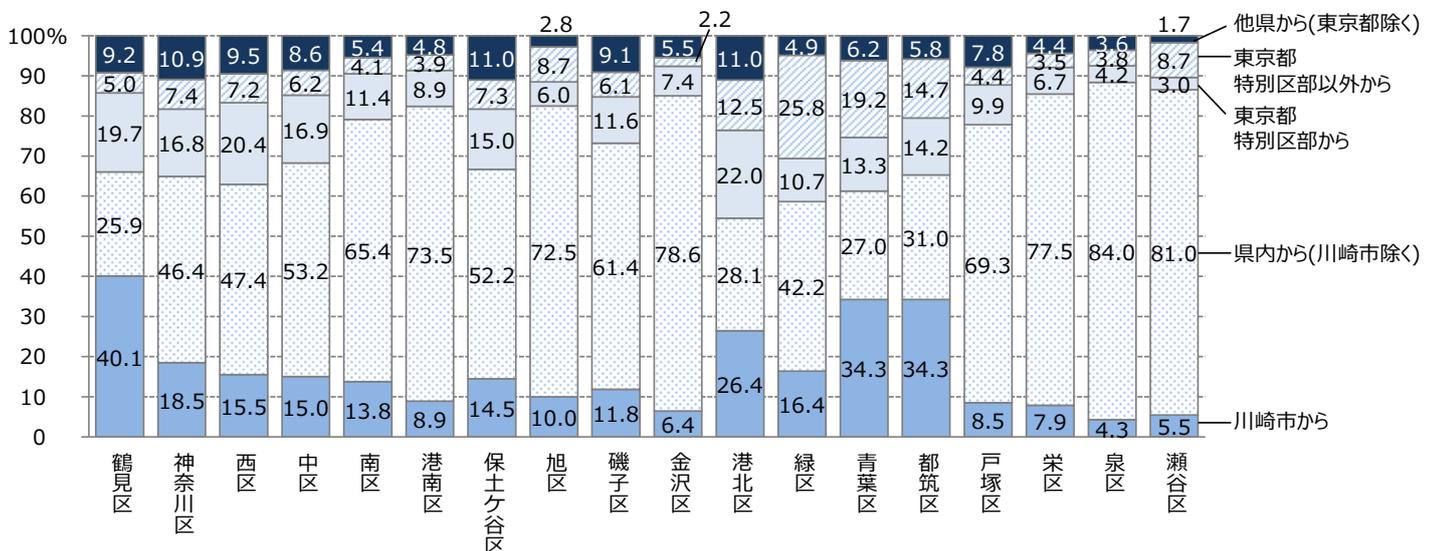


表5-4 流出地域別 15歳以上通勤・通学者一市、行政区（平成27年、令和2年）

行政区	15歳以上通勤・通学者 市外への流出人口（人）											
	平成27年						令和2年					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
横浜市	717,782	101,261	120,395	434,302	35,693	26,131	685,403	97,520	118,684	416,941	32,070	20,188
鶴見区	69,488	20,639	2,993	41,793	1,936	2,127	69,049	20,784	2,863	41,804	1,779	1,819
神奈川区	45,195	6,603	4,470	30,459	1,915	1,748	44,963	6,481	4,450	30,942	1,676	1,414
西区	19,191	2,023	2,494	13,309	592	773	20,490	2,189	2,639	14,429	563	670
中区	20,809	2,255	2,341	14,648	674	891	20,399	2,173	2,277	14,594	608	747
南区	26,767	3,716	4,636	16,426	976	1,013	25,970	3,638	4,612	16,102	776	842
港南区	33,474	3,765	8,057	19,127	1,166	1,359	30,757	3,493	7,813	17,484	990	977
保土ヶ谷区	33,604	4,315	5,569	20,932	1,455	1,333	31,746	4,112	5,391	19,890	1,212	1,141
旭区	37,311	4,895	9,901	18,915	2,254	1,346	34,656	4,374	9,520	17,691	2,038	1,033
磯子区	24,359	3,093	5,050	14,396	813	1,007	23,039	2,992	5,134	13,456	668	789
金沢区	35,190	3,269	11,675	17,906	1,024	1,316	31,370	2,825	11,527	15,304	805	909
港北区	81,886	11,906	4,706	59,019	3,492	2,763	81,744	11,710	4,563	59,984	3,196	2,291
緑区	34,238	4,957	5,360	18,370	4,342	1,209	32,430	4,582	5,408	17,281	4,264	895
青葉区	89,668	11,356	7,017	60,740	7,398	3,157	80,558	10,822	6,470	54,562	6,683	2,021
都筑区	43,665	7,053	3,476	28,556	2,694	1,886	40,341	6,646	3,236	26,687	2,439	1,333
戸塚区	52,736	5,005	13,993	30,093	1,713	1,932	52,389	4,928	14,488	29,815	1,580	1,578
栄区	22,571	1,801	9,157	10,159	622	832	20,445	1,550	8,843	8,954	515	583
泉区	26,652	2,575	10,071	11,917	1,209	880	25,050	2,339	10,135	10,931	955	690
瀬谷区	20,978	2,035	9,429	7,537	1,418	559	20,007	1,882	9,315	7,031	1,323	456
行政区	対前回比											
	増減数（人）						増減率（％）					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
横浜市	△32,379	△3,741	△1,711	△17,361	△3,623	△5,943	△4.5	△3.7	△1.4	△4.0	△10.2	△22.7
鶴見区	△439	145	△130	11	△157	△308	△0.6	0.7	△4.3	0.0	△8.1	△14.5
神奈川区	△232	△122	△20	483	△239	△334	△0.5	△1.8	△0.4	1.6	△12.5	△19.1
西区	1,299	166	145	1,120	△29	△103	6.8	8.2	5.8	8.4	△4.9	△13.3
中区	△410	△82	△64	△54	△66	△144	△2.0	△3.6	△2.7	△0.4	△9.8	△16.2
南区	△797	△78	△24	△324	△200	△171	△3.0	△2.1	△0.5	△2.0	△20.5	△16.9
港南区	△2,717	△272	△244	△1,643	△176	△382	△8.1	△7.2	△3.0	△8.6	△15.1	△28.1
保土ヶ谷区	△1,858	△203	△178	△1,042	△243	△192	△5.5	△4.7	△3.2	△5.0	△16.7	△14.4
旭区	△2,655	△521	△381	△1,224	△216	△313	△7.1	△10.6	△3.8	△6.5	△9.6	△23.3
磯子区	△1,320	△101	84	△940	△145	△218	△5.4	△3.3	1.7	△6.5	△17.8	△21.6
金沢区	△3,820	△444	△148	△2,602	△219	△407	△10.9	△13.6	△1.3	△14.5	△21.4	△30.9
港北区	△142	△196	△143	965	△296	△472	△0.2	△1.6	△3.0	1.6	△8.5	△17.1
緑区	△1,808	△375	48	△1,089	△78	△314	△5.3	△7.6	0.9	△5.9	△1.8	△26.0
青葉区	△9,110	△534	△547	△6,178	△715	△1,136	△10.2	△4.7	△7.8	△10.2	△9.7	△36.0
都筑区	△3,324	△407	△240	△1,869	△255	△553	△7.6	△5.8	△6.9	△6.5	△9.5	△29.3
戸塚区	△347	△77	495	△278	△133	△354	△0.7	△1.5	3.5	△0.9	△7.8	△18.3
栄区	△2,126	△251	△314	△1,205	△107	△249	△9.4	△13.9	△3.4	△11.9	△17.2	△29.9
泉区	△1,602	△236	64	△986	△254	△190	△6.0	△9.2	0.6	△8.3	△21.0	△21.6
瀬谷区	△971	△153	△114	△506	△95	△103	△4.6	△7.5	△1.2	△6.7	△6.7	△18.4

表5-5 流入地域別15歳以上通勤・通学者一市、行政区（平成27年、令和2年）

行政区	15歳以上通勤・通学者 市外からの流入人口（人）											
	平成27年						令和2年					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)
横浜市	412,437	76,075	203,088	59,279	36,071	37,924	405,840	78,683	197,434	61,462	35,590	32,671
鶴見区	32,393	12,187	8,760	6,385	1,668	3,393	31,565	12,654	8,187	6,220	1,592	2,912
神奈川区	37,362	6,405	17,253	6,264	2,795	4,645	35,220	6,506	16,357	5,916	2,595	3,846
西区	54,241	7,741	27,446	9,784	3,905	5,365	60,078	9,333	28,474	12,253	4,302	5,716
中区	47,712	6,704	26,436	7,147	2,930	4,495	47,399	7,119	25,234	8,003	2,959	4,084
南区	6,233	766	4,215	652	235	365	6,288	865	4,111	714	259	339
港南区	9,402	789	6,761	871	376	605	8,835	788	6,491	787	343	426
保土ヶ谷区	13,777	1,921	7,306	2,012	933	1,605	12,009	1,743	6,264	1,803	878	1,321
旭区	10,310	1,004	7,571	514	830	391	10,353	1,031	7,508	622	900	292
磯子区	10,306	1,154	6,315	1,125	673	1,039	10,111	1,198	6,204	1,170	620	919
金沢区	24,126	1,506	18,877	1,789	558	1,396	23,760	1,532	18,665	1,753	515	1,295
港北区	48,899	12,238	13,496	10,364	6,153	6,648	45,145	11,930	12,674	9,915	5,650	4,976
緑区	14,393	2,286	6,012	1,572	3,582	941	13,715	2,251	5,791	1,473	3,533	667
青葉区	27,124	9,066	7,448	3,515	5,186	1,909	28,157	9,654	7,603	3,756	5,407	1,737
都筑区	25,860	8,559	8,137	3,573	3,719	1,872	24,995	8,577	7,744	3,545	3,669	1,460
戸塚区	25,550	2,198	17,186	2,628	1,221	2,317	24,272	2,068	16,814	2,414	1,074	1,902
栄区	8,330	702	6,423	500	309	396	8,477	668	6,573	566	296	374
泉区	7,477	384	6,106	345	288	354	7,132	307	5,993	298	274	260
瀬谷区	8,942	465	7,340	239	710	188	8,329	459	6,747	254	724	145

行政区	対前回比											
	増減数（人）						増減率（％）					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)
横浜市	△6,597	2,608	△5,654	2,183	△481	△5,253	△1.6	3.4	△2.8	3.7	△1.3	△13.9
鶴見区	△828	467	△573	△165	△76	△481	△2.6	3.8	△6.5	△2.6	△4.6	△14.2
神奈川区	△2,142	101	△896	△348	△200	△799	△5.7	1.6	△5.2	△5.6	△7.2	△17.2
西区	5,837	1,592	1,028	2,469	397	351	10.8	20.6	3.7	25.2	10.2	6.5
中区	△313	415	△1,202	856	29	△411	△0.7	6.2	△4.5	12.0	1.0	△9.1
南区	55	99	△104	62	24	△26	0.9	12.9	△2.5	9.5	10.2	△7.1
港南区	△567	△1	△270	△84	△33	△179	△6.0	△0.1	△4.0	△9.6	△8.8	△29.6
保土ヶ谷区	△1,768	△178	△1,042	△209	△55	△284	△12.8	△9.3	△14.3	△10.4	△5.9	△17.7
旭区	43	27	△63	108	70	△99	0.4	2.7	△0.8	21.0	8.4	△25.3
磯子区	△195	44	△111	45	△53	△120	△1.9	3.8	△1.8	4.0	△7.9	△11.5
金沢区	△366	26	△212	△36	△43	△101	△1.5	1.7	△1.1	△2.0	△7.7	△7.2
港北区	△3,754	△308	△822	△449	△503	△1,672	△7.7	△2.5	△6.1	△4.3	△8.2	△25.2
緑区	△678	△35	△221	△99	△49	△274	△4.7	△1.5	△3.7	△6.3	△1.4	△29.1
青葉区	1,033	588	155	241	221	△172	3.8	6.5	2.1	6.9	4.3	△9.0
都筑区	△865	18	△393	△28	△50	△412	△3.3	0.2	△4.8	△0.8	△1.3	△22.0
戸塚区	△1,278	△130	△372	△214	△147	△415	△5.0	△5.9	△2.2	△8.1	△12.0	△17.9
栄区	147	△34	150	66	△13	△22	1.8	△4.8	2.3	13.2	△4.2	△5.6
泉区	△345	△77	△113	△47	△14	△94	△4.6	△20.1	△1.9	△13.6	△4.9	△26.6
瀬谷区	△613	△6	△593	15	14	△43	△6.9	△1.3	△8.1	6.3	2.0	△22.9

表5-6 流出地域別15歳以上通勤者一市、行政区（平成27年、令和2年）

行政区	15歳以上通勤者 市外への流出人口（人）											
	平成27年						令和2年					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
横浜市	637,474	95,184	98,569	396,327	24,427	22,967	621,078	92,196	100,213	387,113	23,718	17,838
鶴見区	64,680	19,848	2,415	39,156	1,377	1,884	65,114	20,039	2,407	39,672	1,369	1,627
神奈川区	41,586	6,355	3,741	28,540	1,381	1,569	41,883	6,282	3,822	29,236	1,261	1,282
西区	17,858	1,948	2,153	12,619	444	694	19,294	2,113	2,331	13,814	432	604
中区	18,777	2,156	1,847	13,563	425	786	18,752	2,079	1,873	13,712	411	677
南区	24,040	3,575	3,731	15,214	623	897	23,889	3,525	3,894	15,164	552	754
港南区	29,308	3,591	6,328	17,443	734	1,212	27,519	3,357	6,445	16,206	656	855
保土ヶ谷区	29,914	4,101	4,418	19,311	940	1,144	29,067	3,958	4,525	18,681	894	1,009
旭区	32,887	4,604	8,262	17,321	1,539	1,161	31,362	4,145	8,235	16,512	1,547	923
磯子区	21,598	2,969	4,065	13,200	498	866	20,846	2,903	4,212	12,595	455	681
金沢区	30,650	3,090	9,668	16,180	574	1,138	27,741	2,690	9,736	14,028	505	782
港北区	73,963	11,180	3,799	54,020	2,495	2,469	75,306	11,061	3,873	55,911	2,421	2,040
緑区	29,821	4,570	4,307	16,634	3,250	1,060	28,904	4,230	4,481	15,953	3,454	786
青葉区	76,786	10,077	5,235	53,589	5,113	2,772	70,663	9,682	5,065	49,159	4,996	1,761
都筑区	37,258	6,393	2,564	24,952	1,719	1,630	35,072	6,019	2,454	23,779	1,675	1,145
戸塚区	46,831	4,747	11,497	27,773	1,104	1,710	47,184	4,689	12,181	27,867	1,049	1,398
栄区	19,962	1,700	7,832	9,318	373	739	18,172	1,453	7,605	8,273	316	525
泉区	23,141	2,393	8,535	10,670	791	752	22,392	2,208	8,819	10,081	693	591
瀬谷区	18,414	1,887	8,172	6,824	1,047	484	17,918	1,763	8,255	6,470	1,032	398

行政区	対前回比											
	増減数（人）						増減率（％）					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 特別区部 へ	東京都 特別区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
横浜市	△16,396	△2,988	1,644	△9,214	△709	△5,129	△2.6	△3.1	1.7	△2.3	△2.9	△22.3
鶴見区	434	191	△8	516	△8	△257	0.7	1.0	△0.3	1.3	△0.6	△13.6
神奈川区	297	△73	81	696	△120	△287	0.7	△1.1	2.2	2.4	△8.7	△18.3
西区	1,436	165	178	1,195	△12	△90	8.0	8.5	8.3	9.5	△2.7	△13.0
中区	△25	△77	26	149	△14	△109	△0.1	△3.6	1.4	1.1	△3.3	△13.9
南区	△151	△50	163	△50	△71	△143	△0.6	△1.4	4.4	△0.3	△11.4	△15.9
港南区	△1,789	△234	117	△1,237	△78	△357	△6.1	△6.5	1.8	△7.1	△10.6	△29.5
保土ヶ谷区	△847	△143	107	△630	△46	△135	△2.8	△3.5	2.4	△3.3	△4.9	△11.8
旭区	△1,525	△459	△27	△809	8	△238	△4.6	△10.0	△0.3	△4.7	0.5	△20.5
磯子区	△752	△66	147	△605	△43	△185	△3.5	△2.2	3.6	△4.6	△8.6	△21.4
金沢区	△2,909	△400	68	△2,152	△69	△356	△9.5	△12.9	0.7	△13.3	△12.0	△31.3
港北区	1,343	△119	74	1,891	△74	△429	1.8	△1.1	1.9	3.5	△3.0	△17.4
緑区	△917	△340	174	△681	204	△274	△3.1	△7.4	4.0	△4.1	6.3	△25.8
青葉区	△6,123	△395	△170	△4,430	△117	△1,011	△8.0	△3.9	△3.2	△8.3	△2.3	△36.5
都筑区	△2,186	△374	△110	△1,173	△44	△485	△5.9	△5.9	△4.3	△4.7	△2.6	△29.8
戸塚区	353	△58	684	94	△55	△312	0.8	△1.2	5.9	0.3	△5.0	△18.2
栄区	△1,790	△247	△227	△1,045	△57	△214	△9.0	△14.5	△2.9	△11.2	△15.3	△29.0
泉区	△749	△185	284	△589	△98	△161	△3.2	△7.7	3.3	△5.5	△12.4	△21.4
瀬谷区	△496	△124	83	△354	△15	△86	△2.7	△6.6	1.0	△5.2	△1.4	△17.8

表5-7 流入地域別15歳以上通勤者—行政区（平成27年、令和2年）

行政区	15歳以上通勤者 市外からの流入人口（人）											
	平成27年						令和2年					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)
横浜市	360,190	66,806	180,100	50,536	32,318	30,430	360,553	69,429	177,241	54,122	32,712	27,049
鶴見区	29,435	11,219	7,589	5,918	1,561	3,148	28,808	11,545	7,211	5,859	1,491	2,702
神奈川区	30,118	4,998	13,569	5,523	2,466	3,562	28,652	5,044	13,030	5,284	2,373	2,921
西区	51,852	7,323	25,922	9,559	3,850	5,198	58,051	8,878	27,237	12,086	4,247	5,603
中区	45,338	6,260	25,249	6,657	2,803	4,369	45,276	6,700	24,143	7,547	2,883	4,003
南区	5,404	605	3,639	601	225	334	5,439	660	3,582	639	244	314
港南区	8,809	730	6,324	841	361	553	8,277	731	6,059	747	335	405
保土ヶ谷区	11,193	1,563	6,312	1,597	723	998	9,878	1,391	5,483	1,438	715	851
旭区	8,725	821	6,326	484	759	335	9,009	894	6,435	593	830	257
磯子区	9,885	1,132	5,954	1,112	666	1,021	9,737	1,158	5,894	1,161	616	908
金沢区	19,696	1,076	16,068	1,341	436	775	19,780	1,152	16,174	1,340	395	719
港北区	39,228	10,572	11,960	6,954	5,208	4,534	37,595	10,450	11,444	7,088	5,027	3,586
緑区	11,339	1,779	4,920	1,063	2,953	624	11,388	1,817	4,944	1,110	3,063	454
青葉区	22,324	7,647	6,158	2,794	4,586	1,139	23,229	8,054	6,234	3,012	4,838	1,091
都筑区	24,037	7,873	7,567	3,293	3,567	1,737	23,396	7,867	7,281	3,319	3,541	1,388
戸塚区	21,247	1,875	15,190	1,885	923	1,374	20,926	1,834	15,094	1,895	875	1,228
栄区	7,353	652	5,539	477	304	381	7,446	616	5,633	552	290	355
泉区	6,193	257	5,334	211	226	165	6,140	229	5,348	207	232	124
瀬谷区	8,014	424	6,480	226	701	183	7,526	409	6,015	245	717	140

行政区	対前回比											
	増減数（人）						増減率（％）					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 特別区部 から	東京都 特別区部 以外から	他県から (東京都 除く)
横浜市	363	2,623	△2,859	3,586	394	△3,381	0.1	3.9	△1.6	7.1	1.2	△11.1
鶴見区	△627	326	△378	△59	△70	△446	△2.1	2.9	△5.0	△1.0	△4.5	△14.2
神奈川区	△1,466	46	△539	△239	△93	△641	△4.9	0.9	△4.0	△4.3	△3.8	△18.0
西区	6,199	1,555	1,315	2,527	397	405	12.0	21.2	5.1	26.4	10.3	7.8
中区	△62	440	△1,106	890	80	△366	△0.1	7.0	△4.4	13.4	2.9	△8.4
南区	35	55	△57	38	19	△20	0.6	9.1	△1.6	6.3	8.4	△6.0
港南区	△532	1	△265	△94	△26	△148	△6.0	0.1	△4.2	△11.2	△7.2	△26.8
保土ヶ谷区	△1,315	△172	△829	△159	△8	△147	△11.7	△11.0	△13.1	△10.0	△1.1	△14.7
旭区	284	73	109	109	71	△78	3.3	8.9	1.7	22.5	9.4	△23.3
磯子区	△148	26	△60	49	△50	△113	△1.5	2.3	△1.0	4.4	△7.5	△11.1
金沢区	84	76	106	△1	△41	△56	0.4	7.1	0.7	△0.1	△9.4	△7.2
港北区	△1,633	△122	△516	134	△181	△948	△4.2	△1.2	△4.3	1.9	△3.5	△20.9
緑区	49	38	24	47	110	△170	0.4	2.1	0.5	4.4	3.7	△27.2
青葉区	905	407	76	218	252	△48	4.1	5.3	1.2	7.8	5.5	△4.2
都筑区	△641	△6	△286	26	△26	△349	△2.7	△0.1	△3.8	0.8	△0.7	△20.1
戸塚区	△321	△41	△96	10	△48	△146	△1.5	△2.2	△0.6	0.5	△5.2	△10.6
栄区	93	△36	94	75	△14	△26	1.3	△5.5	1.7	15.7	△4.6	△6.8
泉区	△53	△28	14	△4	6	△41	△0.9	△10.9	0.3	△1.9	2.7	△24.8
瀬谷区	△488	△15	△465	19	16	△43	△6.1	△3.5	△7.2	8.4	2.3	△23.5

5 行政区の流入者数及び流入超過数は南区から中区が最も多い

横浜市に常住する15歳以上通勤・通学者について、行政区間の流入人口をみると、南区から中区への流入が9,507人と最も多く、次いで磯子区から中区が8,130人、都筑区から港北区が7,976人となっています。

また、行政区間の流入超過数をみると、南区から中区が8,345人と最も多く、次いで磯子区から中区が6,897人、港南区から中区が6,435人となっています。

【表5-8、表5-9、図5-6、図5-7】

図5-6 行政区間別15歳以上通勤・通学者（令和2年）

流入者数(上位10区間)			
【流出側】		【流入側】	
南区	⇒	中区	9,507
磯子区	⇒	中区	8,130
都筑区	⇒	港北区	7,976
保土ヶ谷区	⇒	西区	7,471
緑区	⇒	都筑区	7,137
神奈川区	⇒	西区	7,015
港南区	⇒	中区	6,973
神奈川区	⇒	港北区	6,786
港北区	⇒	都筑区	6,553
青葉区	⇒	都筑区	6,461

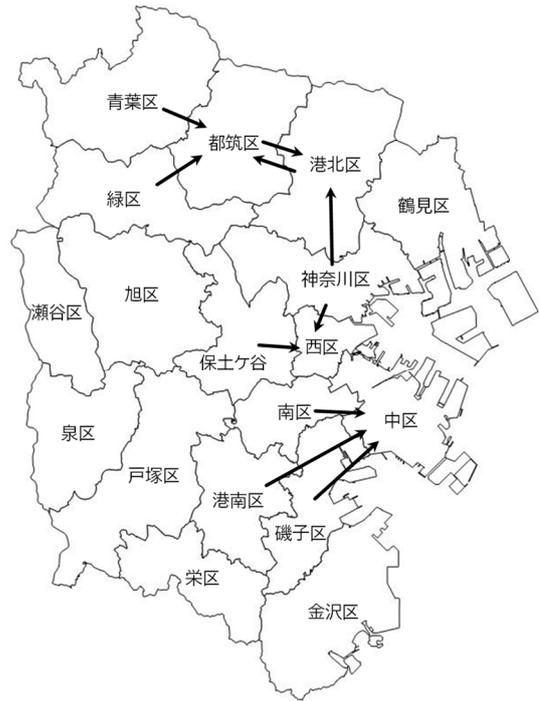


図5-7 行政区間別15歳以上通勤・通学者の流入超過数（令和2年）

流入超過数(上位10区間)			
【流出側】		【流入側】	
南区	⇒	中区	8,345
磯子区	⇒	中区	6,897
港南区	⇒	中区	6,435
保土ヶ谷区	⇒	西区	6,091
旭区	⇒	西区	5,424
港北区	⇒	西区	5,155
緑区	⇒	都筑区	4,796
神奈川区	⇒	西区	4,793
戸塚区	⇒	西区	4,767
南区	⇒	西区	4,656

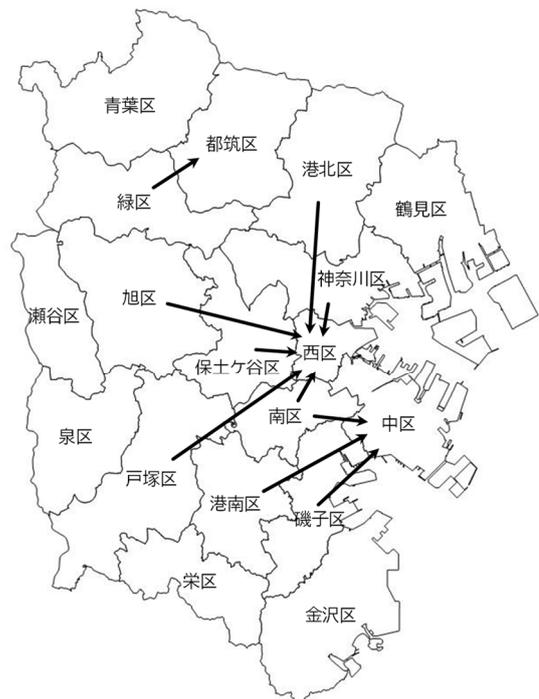


表 5-8 行政区間別 15 歳以上通勤・通学者（令和 2 年）

常住地	15歳以上就業者・通学者								
	総数	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区
総数	508,729	28,869	43,991	70,552	76,356	17,367	19,829	22,527	18,895
鶴見区	22,214	-	4,249	3,080	3,113	548	398	671	380
神奈川区	37,264	4,619	-	7,015	6,113	955	611	2,007	832
西区	14,680	1,002	2,222	-	3,856	884	401	1,380	475
中区	14,487	1,175	1,622	3,723	-	1,162	538	577	297
南区	36,463	1,989	2,988	5,540	9,507	-	3,134	1,789	596
港南区	38,044	1,596	2,558	4,492	6,973	3,311	-	1,217	601
保土ヶ谷区	35,402	1,907	4,375	7,471	5,029	1,363	780	-	3,190
旭区	39,023	1,867	3,427	5,899	4,335	812	575	4,757	-
磯子区	32,235	1,507	2,028	3,564	8,130	2,220	3,305	730	398
金沢区	23,635	1,371	2,031	3,481	4,692	1,381	2,254	638	331
港北区	37,272	4,177	5,551	6,344	5,529	652	501	1,216	712
緑区	30,491	1,392	2,547	2,223	2,067	266	230	764	2,083
青葉区	23,304	811	1,451	2,156	1,982	262	158	445	762
都筑区	27,134	1,349	2,221	2,935	2,718	369	267	674	641
戸塚区	36,590	1,845	2,898	5,403	5,019	1,779	2,786	2,630	1,179
栄区	17,923	660	997	1,813	2,737	439	2,630	526	243
泉区	24,899	851	1,555	3,107	2,784	693	1,016	1,287	2,287
瀬谷区	17,669	751	1,271	2,306	1,772	271	245	1,219	3,888

表 5-9 行政区間別 15 歳以上通勤・通学者の流入超過数（令和 2 年）

常住地	15歳以上就業者・通学者の流入								
	総数	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区
鶴見区	6,655	-	370	△ 2,078	△ 1,938	1,441	1,198	1,236	1,487
神奈川区	6,727	△ 370	-	△ 4,793	△ 4,491	2,033	1,947	2,368	2,595
西区	55,872	2,078	4,793	-	△ 133	4,656	4,091	6,091	5,424
中区	61,869	1,938	4,491	133	-	8,345	6,435	4,452	4,038
南区	△ 19,096	△ 1,441	△ 2,033	△ 4,656	△ 8,345	-	177	△ 426	216
港南区	△ 18,215	△ 1,198	△ 1,947	△ 4,091	△ 6,435	△ 177	-	△ 437	△ 26
保土ヶ谷区	△ 12,875	△ 1,236	△ 2,368	△ 6,091	△ 4,452	426	437	-	1,567
旭区	△ 20,128	△ 1,487	△ 2,595	△ 5,424	△ 4,038	△ 216	26	△ 1,567	-
磯子区	△ 13,469	△ 749	△ 1,157	△ 3,067	△ 6,897	△ 128	284	11	223
金沢区	1,553	△ 449	△ 833	△ 2,819	△ 3,592	1,212	1,701	349	614
港北区	9,793	688	1,235	△ 5,155	△ 4,397	1,236	1,222	1,239	1,891
緑区	△ 15,494	△ 924	△ 1,319	△ 2,029	△ 1,873	17	38	△ 25	448
青葉区	△ 9,276	△ 451	△ 826	△ 1,963	△ 1,792	△ 29	102	△ 65	225
都筑区	6,581	△ 98	352	△ 2,383	△ 2,202	542	580	707	1,442
戸塚区	△ 9,305	△ 1,231	△ 1,930	△ 4,767	△ 4,502	176	1,423	116	524
栄区	△ 8,650	△ 404	△ 698	△ 1,613	△ 2,432	△ 32	△ 1,018	△ 201	64
泉区	△ 14,124	△ 715	△ 1,278	△ 2,938	△ 2,674	△ 358	△ 418	△ 539	△ 205
瀬谷区	△ 8,418	△ 606	△ 984	△ 2,138	△ 1,676	△ 48	△ 10	△ 434	△ 399

単位：人

の従業地・通学地別人口										居住地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	
18,766	25,188	47,065	14,997	14,028	33,715	27,285	9,273	10,775	9,251	総数
758	922	4,865	468	360	1,251	614	256	136	145	鶴見区
871	1,198	6,786	1,228	625	2,573	968	299	277	287	神奈川区
497	662	1,189	194	193	552	636	200	169	168	西区
1,233	1,100	1,132	194	190	516	517	305	110	96	中区
2,092	2,593	1,888	283	233	911	1,955	407	335	223	南区
3,589	3,955	1,723	268	260	847	4,209	1,612	598	235	港南区
741	987	2,455	739	380	1,381	2,746	325	748	785	保土ヶ谷区
621	945	2,603	2,531	987	2,083	1,703	307	2,082	3,489	旭区
-	6,025	1,168	202	150	525	1,068	896	194	125	磯子区
3,496	-	1,024	165	151	484	1,040	754	210	132	金沢区
611	922	-	1,578	1,300	6,553	918	300	182	226	港北区
295	369	5,753	-	4,155	7,137	483	113	171	443	緑区
160	300	4,008	3,500	-	6,461	360	84	115	289	青葉区
277	442	7,976	2,341	4,041	-	482	132	101	168	都筑区
1,298	1,841	1,865	350	306	987	-	2,483	3,209	712	戸塚区
1,524	1,843	660	114	95	292	2,906	-	316	128	栄区
423	691	1,082	292	224	561	5,775	671	-	1,600	泉区
280	393	888	550	378	601	905	129	1,822	-	瀬谷区

単位：人

超過数（常住区から見た流入超過数）										行政区
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	
749	449	△ 688	924	451	98	1,231	404	715	606	鶴見区
1,157	833	△ 1,235	1,319	826	△ 352	1,930	698	1,278	984	神奈川区
3,067	2,819	5,155	2,029	1,963	2,383	4,767	1,613	2,938	2,138	西区
6,897	3,592	4,397	1,873	1,792	2,202	4,502	2,432	2,674	1,676	中区
128	△ 1,212	△ 1,236	△ 17	29	△ 542	△ 176	32	358	48	南区
△ 284	△ 1,701	△ 1,222	△ 38	△ 102	△ 580	△ 1,423	1,018	418	10	港南区
△ 11	△ 349	△ 1,239	25	65	△ 707	△ 116	201	539	434	保土ヶ谷区
△ 223	△ 614	△ 1,891	△ 448	△ 225	△ 1,442	△ 524	△ 64	205	399	旭区
-	△ 2,529	△ 557	93	10	△ 248	230	628	229	155	磯子区
2,529	-	△ 102	204	149	△ 42	801	1,089	481	261	金沢区
557	102	-	4,175	2,708	1,423	947	360	900	662	港北区
△ 93	△ 204	△ 4,175	-	△ 655	△ 4,796	△ 133	1	121	107	緑区
△ 10	△ 149	△ 2,708	655	-	△ 2,420	△ 54	11	109	89	青葉区
248	42	△ 1,423	4,796	2,420	-	505	160	460	433	都筑区
△ 230	△ 801	△ 947	133	54	△ 505	-	423	2,566	193	戸塚区
△ 628	△ 1,089	△ 360	△ 1	△ 11	△ 160	△ 423	-	355	1	栄区
△ 229	△ 481	△ 900	△ 121	△ 109	△ 460	△ 2,566	△ 355	-	222	泉区
△ 155	△ 261	△ 662	△ 107	△ 89	△ 433	△ 193	△ 1	△ 222	-	瀬谷区

6 「情報通信業」の就業者の流出超過が最も多い

横浜市に常住する15歳以上就業者について、産業（大分類）別の流入人口をみると、「卸売業，小売業」が56,266人（流入人口の15.8%）と最も多く、次いで「製造業」が49,714人（同14.0%）、「医療，福祉」が37,885人（同10.6%）となっています。

流出人口をみると、「卸売業，小売業」が92,461人（流出人口の15.1%）と最も多く、次いで「製造業」が90,851人（同14.8%）、「情報通信業」が80,290人（同13.1%）となっています。

また、「農業，林業」から「公務（他に分類されるものを除く）」までのすべての産業（大分類）において流出人口が流入人口を上回る流出超過となっています。「情報通信業」が51,927人の流出超過と最も多く、次いで「製造業」が41,137人、「卸売業，小売業」が36,195人となっています。

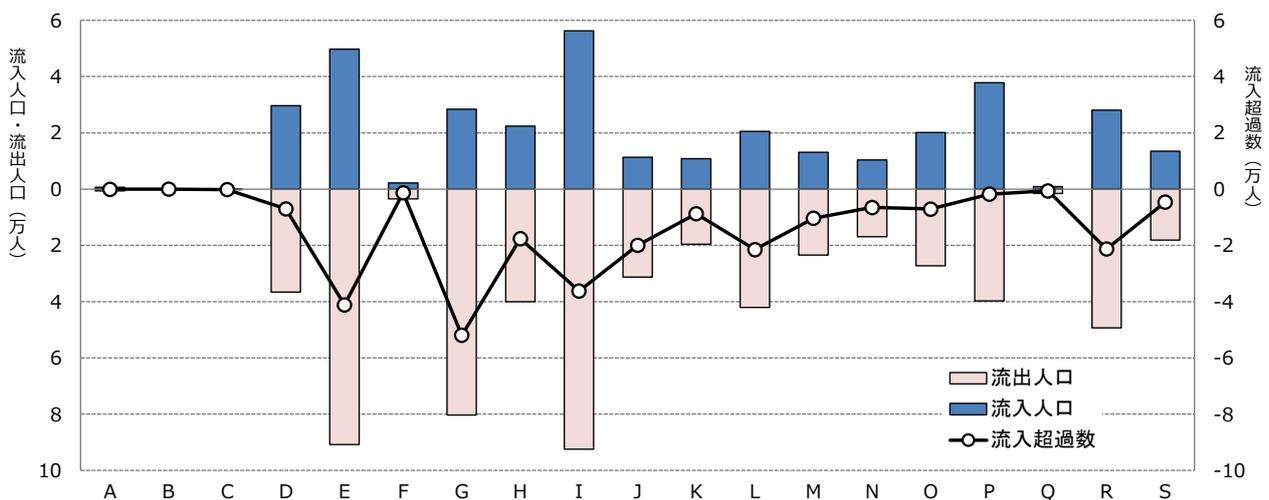
【表5-10、図5-8】

表5-10 産業（大分類）別15歳以上就業者（令和2年）

産業大分類	15歳以上就業者(人)					割合(%)			
	常住者の 従業地別 人口	就業者の 常住地別 人口	流出 人口 A	流入 人口 B	流入 超過数 B-A	昼間 人口	夜間 人口	流出 人口	流入 人口
総数 ¹⁾	1,427,747	1,688,272	621,078	360,553	△260,525	100.0	100.0	100.0	100.0
A 農業，林業	7,217	7,257	652	612	△40	0.5	0.4	0.1	0.2
B 漁業	192	225	41	8	△33	0.0	0.0	0.0	0.0
C 鉱業，採石業，砂利採取業	50	212	172	10	△162	0.0	0.0	0.0	0.0
D 建設業	104,378	111,387	36,661	29,652	△7,009	7.6	6.8	6.0	8.3
E 製造業	148,864	190,001	90,851	49,714	△41,137	10.8	11.6	14.8	14.0
F 電気・ガス・熱供給・水道業	5,710	6,965	3,442	2,187	△1,255	0.4	0.4	0.6	0.6
G 情報通信業	83,038	134,965	80,290	28,363	△51,927	6.0	8.2	13.1	8.0
H 運輸業，郵便業	83,152	100,748	40,003	22,407	△17,596	6.1	6.2	6.5	6.3
I 卸売業，小売業	224,887	261,082	92,461	56,266	△36,195	16.4	15.9	15.1	15.8
J 金融業，保険業	31,983	51,965	31,318	11,336	△19,982	2.3	3.2	5.1	3.2
K 不動産業，物品賃貸業	48,054	56,801	19,565	10,818	△8,747	3.5	3.5	3.2	3.0
L 学術研究，専門・技術サービス業	75,821	97,307	42,045	20,559	△21,486	5.5	5.9	6.8	5.8
M 宿泊業，飲食サービス業	79,516	89,894	23,464	13,086	△10,378	5.8	5.5	3.8	3.7
N 生活関連サービス業，娯楽業	48,542	55,064	16,908	10,386	△6,522	3.5	3.4	2.8	2.9
O 教育，学習支援業	77,752	84,840	27,253	20,165	△7,088	5.7	5.2	4.4	5.7
P 医療，福祉	204,699	206,488	39,674	37,885	△1,789	14.9	12.6	6.5	10.6
Q 複合サービス事業	4,761	5,401	1,544	904	△640	0.3	0.3	0.3	0.3
R サービス業（他に分類されないもの）	109,630	130,913	49,321	28,038	△21,283	8.0	8.0	8.0	7.9
S 公務（他に分類されるものを除く）	38,525	43,170	18,139	13,494	△4,645	2.8	2.6	3.0	3.8
(再掲) 第1次産業（A～B）	7,409	7,482	693	620	△73	0.5	0.5	0.1	0.2
第2次産業（C～E）	253,292	301,600	127,684	79,376	△48,308	18.4	18.4	20.8	22.3
第3次産業（F～S）	1,116,070	1,325,603	485,427	275,894	△209,533	81.2	81.0	79.1	77.5

1) 「分類不能の産業」を含む。

図5-8 産業（大分類）別流入・流出人口及び流入超過数



VI 通勤・通学者の利用交通手段

1 「利用交通手段が1種類」のうち、「鉄道・電車」のみの利用者は増加

横浜市に常住する15歳以上通勤・通学者を利用交通手段別にみると、「鉄道・電車」のみを利用する通勤・通学者は697,556人（通勤・通学者の42.1%）と最も多くなっています。

前回調査の平成22年と比べ、全体の通勤・通学者が減少する中、「利用交通手段が1種類」の「鉄道・電車」を利用する通勤・通学者は20,578人（3.0%）増加しています。

【表6-1】

表6-1 利用交通手段別15歳以上通勤・通学者数（平成22年、令和2年）

利用交通手段	通勤・通学者数（人）		割合（%）		平成22年～令和2年の増減	
	平成22年	令和2年	平成22年	令和2年	増減数（人）	増減率（%）
総数 ¹⁾	1,784,670	1,707,759	100.0	100.0	△76,911	△4.3
I 徒歩のみ	146,013	145,611	8.5	8.8	△402	△0.3
II 利用交通手段が1種類	1,176,582	1,157,210	68.3	69.9	△19,372	△1.6
1 鉄道・電車	676,978	697,556	39.3	42.1	20,578	3.0
2 乗合バス	79,690	73,933	4.6	4.5	△5,757	△7.2
3 勤め先・学校のバス	3,646	3,348	0.2	0.2	△298	△8.2
4 自家用車	232,238	217,852	13.5	13.2	△14,386	△6.2
5 ハイヤー・タクシー	1,402	1,112	0.1	0.1	△290	△20.7
6 オートバイ	66,112	48,285	3.8	2.9	△17,827	△27.0
7 自転車	100,001	99,196	5.8	6.0	△805	△0.8
8 その他	16,515	15,928	1.0	1.0	△587	△3.6
III 利用交通手段が2種類	371,167	326,521	21.5	19.7	△44,646	△12.0
1 鉄道・電車及び乗合バス	264,271	226,359	15.3	13.7	△37,912	△14.3
2 鉄道・電車及び勤め先・学校のバス	9,318	9,268	0.5	0.6	△50	△0.5
3 鉄道・電車及び自家用車	12,267	15,158	0.7	0.9	2,891	23.6
4 鉄道・電車及びオートバイ	17,718	10,134	1.0	0.6	△7,584	△42.8
5 鉄道・電車及び自転車	42,938	40,345	2.5	2.4	△2,593	△6.0
6 その他利用交通手段が2種類	24,655	25,257	1.4	1.5	602	2.4
IV 利用交通手段が3種類以上	28,938	27,171	1.7	1.6	△1,767	△6.1

1) 利用交通手段「不詳」を含む。

2 「鉄道・電車」のみを利用する割合は港北区が最も高い

横浜市に常住する15歳以上通勤・通学者を利用交通手段、行政区別にみると、「鉄道・電車」のみを利用する割合は、港北区が54.1%（87,286人）と最も高く、次いで神奈川区が52.6%（57,707人）、西区が51.9%（24,816人）となっています。

また、「鉄道・電車及び乗合バス」を利用する割合は、栄区が18.8%（9,337人）と最も高く、次いで戸塚区が18.8%（23,951人）、青葉区が17.6%（24,343人）となっています。

【表6-2】

表6-2 利用交通手段別15歳以上通勤・通学者数一市、行政区（令和2年）

行政区	総数 ¹⁾	徒歩のみ	利用交通手段が1種類	利用交通手段が1種類					
				鉄道・電車	乗合バス	勤め先・学校のバス	自家用車	ハイヤー・タクシー	オートバイ
横浜市	1,707,759	145,611	1,157,210	697,556	73,933	3,348	217,852	1,112	48,285
鶴見区	136,205	11,206	88,151	47,133	7,565	478	14,101	65	3,394
神奈川区	113,122	10,549	81,593	57,707	3,802	179	10,872	59	2,637
西区	49,290	6,746	34,064	24,816	2,597	66	3,275	81	689
中区	59,904	7,146	39,842	22,987	5,149	115	5,803	118	1,051
南区	85,101	7,836	59,261	36,880	4,969	137	8,646	70	2,846
港南区	95,140	7,590	62,697	36,716	5,461	150	12,843	50	3,089
保土ヶ谷区	91,693	8,425	59,261	33,978	5,108	190	12,391	49	3,516
旭区	107,364	9,496	70,764	37,536	3,633	243	18,831	45	4,337
磯子区	76,431	5,718	52,336	30,433	4,978	211	9,802	54	2,470
金沢区	90,990	6,617	61,880	34,692	2,286	147	12,424	52	3,141
港北区	166,062	12,734	120,667	87,286	4,403	249	13,483	100	2,847
緑区	86,398	7,298	59,367	35,290	3,031	198	12,772	24	2,509
青葉区	142,418	10,221	94,416	64,061	4,382	155	17,052	125	2,261
都筑区	102,287	9,035	74,067	46,108	2,591	145	15,439	78	2,025
戸塚区	131,402	12,382	79,574	41,116	7,933	273	18,308	63	4,804
栄区	50,961	4,220	31,383	14,945	3,159	64	7,905	16	1,969
泉区	69,241	4,530	51,189	29,138	1,631	172	12,975	40	2,573
瀬谷区	53,750	3,862	36,698	16,734	1,255	176	10,930	23	2,127
横浜市	100.0	8.8	69.9	42.1	4.5	0.2	13.2	0.1	2.9
鶴見区	100.0	8.5	67.2	35.9	5.8	0.4	10.8	0.0	2.6
神奈川区	100.0	9.6	74.4	52.6	3.5	0.2	9.9	0.1	2.4
西区	100.0	14.1	71.2	51.9	5.4	0.1	6.8	0.2	1.4
中区	100.0	12.4	69.2	39.9	8.9	0.2	10.1	0.2	1.8
南区	100.0	9.6	72.3	45.0	6.1	0.2	10.5	0.1	3.5
港南区	100.0	8.2	67.9	39.7	5.9	0.2	13.9	0.1	3.3
保土ヶ谷区	100.0	9.5	66.5	38.1	5.7	0.2	13.9	0.1	3.9
旭区	100.0	9.1	68.0	36.1	3.5	0.2	18.1	0.0	4.2
磯子区	100.0	7.7	70.7	41.1	6.7	0.3	13.2	0.1	3.3
金沢区	100.0	7.5	70.0	39.2	2.6	0.2	14.1	0.1	3.6
港北区	100.0	7.9	74.7	54.1	2.7	0.2	8.3	0.1	1.8
緑区	100.0	8.7	70.5	41.9	3.6	0.2	15.2	0.0	3.0
青葉区	100.0	7.4	68.2	46.3	3.2	0.1	12.3	0.1	1.6
都筑区	100.0	9.1	74.4	46.3	2.6	0.1	15.5	0.1	2.0
戸塚区	100.0	9.7	62.3	32.2	6.2	0.2	14.3	0.0	3.8
栄区	100.0	8.5	63.3	30.1	6.4	0.1	15.9	0.0	4.0
泉区	100.0	6.7	76.1	43.3	2.4	0.3	19.3	0.1	3.8
瀬谷区	100.0	7.4	70.4	32.1	2.4	0.3	21.0	0.0	4.1

1) 実数に利用交通手段「不詳」を含む。

自転車	その他	利用交通手段が2種類	鉄道・電車	鉄道・電車	鉄道・電車	鉄道・電車	鉄道・電車	その他利用	利用交通手段が3種類以上	行政区	
			及び乗合バス	及び勤め先・学校のバス	及び自家用車	及びオートバイ	及び自転車	交通手段が2種類			
99,196	15,928	326,521	226,359	9,268	15,158	10,134	40,345	25,257	27,171	横浜市	実数(人)
14,081	1,334	29,278	20,970	863	708	435	3,678	2,624	2,536	鶴見区	
5,374	963	16,186	10,808	796	877	396	2,034	1,275	1,307	神奈川区	
2,205	335	6,437	4,296	352	384	114	698	593	572	西区	
4,062	557	9,623	6,574	270	421	186	908	1,264	948	中区	
4,909	804	13,808	9,247	549	580	554	1,572	1,306	1,109	南区	
3,455	933	20,519	15,300	509	837	697	1,767	1,409	1,575	港南区	
3,127	902	19,876	15,009	440	718	814	1,491	1,404	1,540	保土ヶ谷区	
4,877	1,262	22,033	16,000	541	1,003	866	2,048	1,575	1,788	旭区	
3,686	702	14,764	10,311	454	610	421	1,626	1,342	1,247	磯子区	
8,424	714	18,141	11,642	474	859	684	3,128	1,354	1,773	金沢区	
11,064	1,235	26,026	15,858	828	1,388	540	5,508	1,904	2,057	港北区	
4,659	884	16,205	11,127	527	870	450	2,020	1,211	1,370	緑区	
5,204	1,176	31,511	24,343	714	1,814	593	2,500	1,547	2,278	青葉区	
6,484	1,197	15,058	9,027	472	1,262	384	2,497	1,416	1,353	都筑区	
5,914	1,163	33,014	23,951	506	1,112	1,492	3,794	2,159	2,679	戸塚区	
2,901	424	12,871	9,337	191	423	577	1,394	949	1,102	栄区	
3,941	719	10,676	6,324	443	770	531	1,633	975	898	泉区	
4,829	624	10,495	6,235	339	522	400	2,049	950	1,039	瀬谷区	
6.0	1.0	19.7	13.7	0.6	0.9	0.6	2.4	1.5	1.6	横浜市	割合(%)
10.7	1.0	22.3	16.0	0.7	0.5	0.3	2.8	2.0	1.9	鶴見区	
4.9	0.9	14.8	9.9	0.7	0.8	0.4	1.9	1.2	1.2	神奈川区	
4.6	0.7	13.5	9.0	0.7	0.8	0.2	1.5	1.2	1.2	西区	
7.1	1.0	16.7	11.4	0.5	0.7	0.3	1.6	2.2	1.6	中区	
6.0	1.0	16.8	11.3	0.7	0.7	0.7	1.9	1.6	1.4	南区	
3.7	1.0	22.2	16.6	0.6	0.9	0.8	1.9	1.5	1.7	港南区	
3.5	1.0	22.3	16.8	0.5	0.8	0.9	1.7	1.6	1.7	保土ヶ谷区	
4.7	1.2	21.2	15.4	0.5	1.0	0.8	2.0	1.5	1.7	旭区	
5.0	0.9	19.9	13.9	0.6	0.8	0.6	2.2	1.8	1.7	磯子区	
9.5	0.8	20.5	13.2	0.5	1.0	0.8	3.5	1.5	2.0	金沢区	
6.9	0.8	16.1	9.8	0.5	0.9	0.3	3.4	1.2	1.3	港北区	
5.5	1.0	19.2	13.2	0.6	1.0	0.5	2.4	1.4	1.6	緑区	
3.8	0.8	22.8	17.6	0.5	1.3	0.4	1.8	1.1	1.6	青葉区	
6.5	1.2	15.1	9.1	0.5	1.3	0.4	2.5	1.4	1.4	都筑区	
4.6	0.9	25.9	18.8	0.4	0.9	1.2	3.0	1.7	2.1	戸塚区	
5.9	0.9	26.0	18.8	0.4	0.9	1.2	2.8	1.9	2.2	栄区	
5.9	1.1	15.9	9.4	0.7	1.1	0.8	2.4	1.4	1.3	泉区	
9.3	1.2	20.1	12.0	0.7	1.0	0.8	3.9	1.8	2.0	瀬谷区	

令和2年国勢調査の概要

1 調査の目的

国勢調査は、我が国の人口、世帯、産業構造等の実態を明らかにし、国及び地方公共団体における各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として行われる国の最も基本的な統計調査である。調査は大正9年以来ほぼ5年ごとに行われており、令和2年国勢調査はその21回目に当たる。

2 調査の時期

令和2年国勢調査は、令和2年10月1日午前零時（以下「調査時」という。）現在によって行われた。

3 調査の地域

令和2年国勢調査は、我が国の地域のうち、国勢調査施行規則第1条に規定する次の島を除く地域において行われた。

- (1) 歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島
- (2) 島根県隠岐郡隠岐の島町にある竹島

4 調査の対象

令和2年国勢調査は、調査時において、本邦内に常住している者について行った。ここで「常住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在いた場所に「常住している者」とみなした。

5 調査の事項

令和2年国勢調査では、男女の別、出生の年月など世帯員に関する事項を15項目、世帯の種類、世帯員の数など世帯に関する事項を4項目、合計19項目について調査した。

6 調査の方法

令和2年国勢調査は、総務省統計局—都道府県—市区町村—国勢調査指導員—国勢調査員—世帯の流れにより行った。

調査は、総務大臣により任命された約70万人（横浜市は約1万6千人）の国勢調査員が、世帯を訪問し、インターネットで回答するための書類と紙の調査票を同時配布する方法により実施した。

調査の回答は、インターネット、郵送、調査員への提出の3つの方法があり、いずれかを選択する方法により行った。